

子どもぴっぷとクラブマニュアルⅡ

新聞にさわろう
あそぼう
たのしちゃう

★ちいさなNIE実践記録集Ⅱ★

ぴっぷと(PPT)研究会

子どもは新聞が好き

ぴぴっと（PPT）研究会会長
小笠原 味佐枝

新聞は生きた教材・身近な学習材・知識の宝庫です。その新聞を活用して何とか地域でもNIE活動ができないかと願い、2000（平成12）年4月にぴぴっと（PPT）研究会の活動を始めました。2001（平成13）年4月には地域の方々を対象に「新聞を読んで今を語る会（通称：まうすりい）」、2002（平成14）年4月から北上市内の小学生を対象に「子どもぴぴっとクラブ」を設立しました。子どもたちは年5回の新聞を活用しての学びに知的好奇心をくすぐられたのでしょう、とても興味をもって参加してくれました。もっと深く学ぼうとする子どもたちに私たちもたいへん触発されました。夏休みや冬休み中に、スクラップづくり教室や新聞づくり教室も臨時に開きました。2年間のささやかな実践でしたが、2004（平成16）年3月に「子どもぴぴっとクラブマニュアルⅠ」を発行しました。

そしてこの度、念願の「子どもぴぴっとクラブマニュアルⅡ」を発行する運びとなりました。マニュアルⅠの内容を確かめ、深化発展させるために活動日も年7回に増やしました。活動内容プログラムにも工夫を試み、日本の伝統文化である百人一首・茶道なども取り入れ、また毎回活動の振り返りにつくった「ぴぴっと新聞かるた」も子どもたちの貴重な実践としてまとめてみました。

この間、2005（平成17）年7月には「文字・活字文化振興法」が制定され、2011（平成23）年度から小学校に導入される新学習指導要領に新聞活用が明記されるなど心強い世の中の動きもありました。また「子どもぴぴっとクラブ」を見学に来られた鈴木伸男先生（当時全新研会長）とのご縁で、第53回全国新聞教育研究大会岩手・北上大会が2010（平成22）年8月に北上市文化交流センターさくらホール・北上市立黒沢尻東小学校（校長高橋きぬ代先生）を開催されたことも特筆すべきことでした。

子どもたちは新聞全体を心と体でしっかり受け止め、驚くような夢やテーマそして展望を持ってスクラップノートづくりに取り組み、岩手県内のコンクールはもちろん全国コンクールにも挑戦し数々の成果を上げてきました。これまで子どもぴぴっとクラブの活動を支えてくださった保護者の皆様はじめ各新聞社・新聞販売店各位のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

来年度は子どもぴぴっとクラブの活動を始めて節目となる10年目になります。今後ともぴぴっと（PPT）研究会では、新聞が大好きな子どもたちと共に楽しみながら、もっともっと深く学び、NIEの輪をさらに地域に広げていければと願っています。

すばらしい活動、 気負わずさらなる活動に期待

「ぴぴっと」は秘密結社をおわす名前のようにあり、何となく気になりました。時々彼女から聞く話の端々にこの「ぴぴっと」のことが出てきて、何度か聞くうちにどんなことを行っている会なのか、実際にこの目で確かめたいという思い、「次はいつあるの?」と尋ねますがいつもさらりとかわされてしまいます。しかし、平成20年に入り、2年後の全国新聞教育研究会の開催をこの夏まで決めなければならず、北上に行くことを決め、強引に「子どもぴぴっとクラブ」に押しかけることにしました。私の願いを快く受け入れてくれたのはよかったです、私に授業を1時間やれという難題を出されました。そんなことで怯む私ではなく、見たさゆえの怖さ知らずで、2月9日(土)ドキドキわくわくしながら北上の地を初めて踏むことが出来ました。この日が私と「ぴぴっと」との出会いでした。

当日、私は、初めての試みで、新聞の特徴などを入れて詠む「新聞俳句づくり」を行いました。翌々日のある新聞には、〈鈴木さんは「子どもを対象に新聞に親しむ活動をしている団体は全国にもあまりない。地域の大事な活動」と、ぴぴとの役割を高く評価し、「子どもは基本的には新聞が嫌いではない。大人がヒントを与え読み聞かせをすれば食ついて来る。生活の中で新聞を読むようになるのが目標だが、まずは新聞と仲良くなることが大事」と話した。〉とありました。子どもぴぴっとクラブの活動は、私の目指すNIE観と一致するものです。活動を知れば知るほど、「ぴぴっと」の活動の奥の深さを感じました。そして、この活動には3つほどの働きや成果があるように思えました。

筑波大学教員免許状更新講習講師
全国新聞教育研究協議会前会長・顧問
東京・町田市立町田第二中学校前校長

鈴木伸男

1つ目は、学校教育を助け・支える陰の力になっています。スポーツの世界では、地域の子どもたちのためのクラブチームがあり、健やかな成長に寄与しています。文化活動でもスポーツと同じような子どもたちの活動の場があってよいでしょう。

2つ目は、一人ひとりの子どもたちの学びをさらに深めたり高めたりしています。NIE活動の大事な部分を担っています。教師もボランティアでこのような活動に参加していくことが大事なことです。

3つ目に、生涯学習の大きな力となるものです。生涯学習というと学校教育が終ったあとに存在するものだと決めがちですが、〈自己啓発、生活の充実、職業的知識・技能の向上などのために生涯を通じて学習すること〉と広辞苑にあるようにその考え方からしても小学生から生涯学習が必要です。広くいえば、学校以外の場で生活をゆたかにするために継続的に学ぶことで、「ぴぴっと」はその文化的な活動の先駆けといってよいでしょう。

エジプト研究で名高い吉村作治さんは「大それたことをやるのではなく、小されたことをコツコツ続けることが大事だ」といっていましたが、「ぴぴっと」の活動も同じです。10年近くも続けられたことはすごいことで、小笠原さんのさり気ないことばの奥に秘められた思いや願いを改めて知りました。この4月に10年めの大きな区切りを迎ますが、気負わず怯まず、小それたことをコツコツ続けられることを願っています。

新聞を取り入れた教育の魅力

「ぴぴっと研究会」が発足して10年、これまでの実践記録「子どもぴぴっとクラブマニュアルⅡ」の発行、おめでとうございます。「子どもぴぴっとクラブ」の発足当時、近所の子ども達と我が子を連れて数回参加したことを思い出します。やんちゃな子どもたちばかりでしたから迷惑をかけないかと心配しながら見ていました。20名ほどの小学生が糊やハサミを持って、楽しそうに新聞の切り抜きに挑んでいたのを覚えています。あれから8年、「子どもぴぴっとクラブ」が試行錯誤しながら実践してきた成果を冊子としてまとめられたことは誠に喜ばしいことです。新聞を活用した教育を志す者にとってのよき手引書になるものと期待しています。その後、再び「ぴぴっと研究会」にお世話になる機会が訪れました。北上地区新聞教育研究会として「PTA広報づくり研修講座」を開催したことがあります。その時講師を引き受けてくださったのが、ぴぴっと研究会の方々です。市内小・中学校のPTA広報を比較しながら魅力的な広報づくりについて分かりやすく説明して戴きました。講座は大変好評でした。

北上・和賀地区では、ぴぴっと研究会の小笠原味佐枝会長や北上市教育委員会の高橋一臣教育長が30年以上前から新聞づくりに取り組み、全国新聞コンクールの上位入賞の常連となっていました。平成10年には北上市で、小笠原味佐枝校長のもとで、岩手新聞教育研究大会（会場 黒沢尻北小学校）を開催しています。学校における新聞教育は、一時下火になったように思えましたが、中学校の文化祭での壁新聞づくりや個人新聞づくりを実践する人たちが、新聞教育の灯を絶やさず燃やし続けてきました。一方、子どもたちを対象とした「子どもぴぴっとクラブ」も地道な活動で、新聞を活用したメディア・リテラシー

第53回全新研大会岩手・北上大会実行委員長
北上地区新聞教育研究会会長
北上市立黒沢尻東小学校校長

高橋 きぬ代

を育ててきました。

平成20年の夏、北上市で全国新聞教育研究大会を開催するという話が持ち上がりました。先輩達の活躍が北上市に全国大会を引き寄せたのでしょう。実施に当たり、「ぴぴっと研究会」はじめ、県内外の新聞教育の達人の実践から多くを学ぶことができました。全国大会当日の平成22年8月4・5日は、心も天気も最高の「熱さ」でした。この熱さは、準備を進めてきた大会役員や参会者、発表者、授業者、子ども達の新聞教育への思いでもありました。全国新聞教育研究大会岩手・北上大会の実施は、大変さ困難さに比例する大きさの『絆と学び』を提供してくれました。今回のさくらホールと黒沢尻東小学校を会場とした全国大会の実施は、先輩たちが切り拓いてきた新聞教育の流れを引き継ぎ、さらに勢いを増すことができたのではないかと感じています。

黒沢尻東小学校が新聞を取り入れた教育活動を推進するようになってから、「5W1Hを入れた要点の記述、ねじれのない文章表現、短文での端的な表現、視野の広がり」の点で子ども達に変化が見られるようになりました。また、学習定着度状況調査結果によれば、「主述の指摘、辞典の利用、内容の読み取り、文と文のつながりの理解」の正答率が高く出てています。池上彰さんの著書「小学生から新聞を読む子は大きく伸びる」のとおり、新聞は、考える力を伸ばす教材として最適かもしれません。

文章の読み書きは、全ての学びの基本です。新聞スクラップや新聞づくりや新聞の活用をとおして、学ぶ力を高めることができると信じています。「子どもぴぴっとクラブ」「ぴぴっと研究会」がその道標となるよう期待するとともに、益々の活躍を祈念しております。



はじめに P3

子どもは新聞が好き ぴぴっと (PPT) 研究会会長 小笠原 味佐枝

寄稿 発刊によせて

すばらしい活動、気負わずさらなる活動に期待 P4

筑波大学教員免許状更新講習講師
全国新聞教育研究協議会前会長・顧問 鈴木伸男
東京・町田市立町田第二中学校前校長

新聞を取り入れた教育の魅力 P6

第53回全新研大会岩手・北上大会実行委員長
北上地区新聞教育研究会会長 高橋きぬ代
北上市立黒沢尻東小学校校長

子どもぴっぷとクラブって？ P10

さあやってみよう

- 1 読み聴かせ P14
- 2 5W1Hをさがそう P18
- 3 リードを書こう P22
- 4 自己紹介新聞をつくろう P26
- 5 イラストあれこれ P30
- 6 ぴっぷとハガキ新聞 P32
- 6 ぴっぷとスクラップ新聞 P36
- 7 まめ記者になろう P40
- 8 広報や広告を知ろう P44
- 9 テレビ欄で遊ぼう P50
- 10 ぴっぷと新聞かるた P54

ぴっぷと（PPT）とは…

〈紹介〉 ぴっぷと（PPT）研究会活動 P66

マニュアルⅠ 目次 P68

おわりに P69

子どもぴっぷとクラフって？



目的

小学生の子どもたちを対象に、遊びを取り入れながら新聞に親しみ、表現力や国語力を自然に身につけてもらおうと、ぴっぷと研究会が主催している会です。

発会

平成14年6月

活動

年7回（6・7・9・11・12・1・2月）

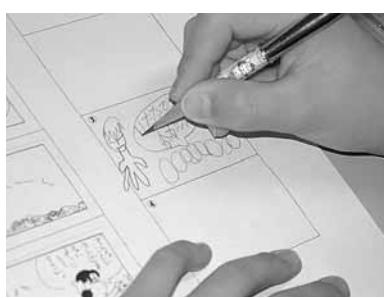
これまで実践してきた活動は、およそ40例あまり。その中からいくつかを紹介します。



トラくらっぷ（2010.1…元日の新聞からトラを探してスクラップしました）



さがしてべったん（2009.6…見出しなど新聞の要素ごとに色分けしてからスクラップしました）



マンガ家に挑戦（2008.9…4こまマンガの起承転結を考えました）



ぴっぷとbingo（2011.1…紙面に載っているカタカナを使ってbingoをしました）

ぴっぷとbingo 3				
コンクール	アイデア	ジャンプ	データベース	レポート
カレンダー	ウサギ	デューラー	オーストリア	ホーリー・デー
ユニセフ	ジャイカ	★	イベント	バット
トイレ	リラックス	フェンス	メートル	ボール
コンコース	フレグランス	ヨーロッパ	クリエーター	モンチ

愛心の絵

参加した子どもたちの感想は・・・



新聞のスクラップ好きなんだ。
新聞てよく見るといろんなもの
がのってるんだね。今日もおもし
ろい写真をいっぱい切って
ノートにはったよ。

(2年 男子)

「5W1Hをさがそう」は
むずかしかったけど、でも
楽しかったから、ちょっと
家でもやってみようかな。

(4年 女子)

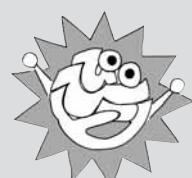


お茶の先生に聞いたりお茶を頂
いたことを新聞にまとめるのは
大変だったけど、なんとか最後
まで書いてよかったです。
(6年 女子) 〈まめ記者になろう〉



このような感想を参考に

- むずかしいことをやさしく
- やさしいことを深く
- 深いことをおもしろく

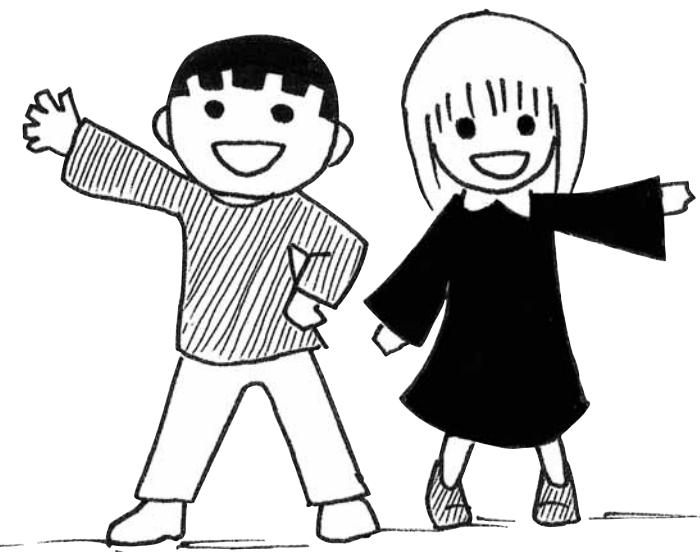


この三つを基本にすえて内容
を検討しています。





やあやってみる



実践ひっぷと

新聞読み聴かせ

ねらい

- ・新聞記事の読み聴かせを通して、社会の出来事に关心を持ち、自分から進んで新聞記事を読むことができる。

新聞読み聴かせ とは

その時々の新聞記事を選んで子どもたちに読み聴かせます。

「聴」を使うのは「注意深く耳を傾けて欲しい」という願いをこめています。



1. 準 備

- ① 各種新聞（一般紙・小学生新聞等）
- ② 必要に応じて新聞記事のコピー（人数分）
- ③ 筆記用具（鉛筆、消しゴム、蛍光ペン等）

〈読み聴かせる記事の選び方〉

- ・子どもたちの興味関心のある記事、身近な地域の記事、子どもたちに知らせたい記事、子どもの心を育てる記事等を中心に選ぶ。（在学している学校や居住している地域に関する記事、知識・学習に関する記事、詩歌等の文学作品）
- ・記事の内容は自由であるが、できるだけ心温まるような内容の記事。
- ・写真や図、絵等がある記事で子どもたちに内容を理解させやすい記事。

2. 進め方

- ① 読み聴かせをする新聞記事（または記事をスクラップしたコピー）を配布する。
- ② 今日の記事は、○○新聞の○月○日の、○面にある記事であることを確認する。
- ③ ひとりで記事を読む。（小学生新聞の場合はルビがふられているので）
- ④ 記事を読み聴かせる。
 - ・原則は「はっきり、ゆっくり読み聴かせる」ことを大切にする。
 - ・読みながら難しいことばや状況について説明を加える。

3. 具体的な記事

事例 1

〈子どもの興味関心のある記事〉

いつ
どこで
いわけけんで
なにが
きよだいせんべいが
どうした
やかれた
どうなった
やわらかかった

事例 2

〈身近な地域の記事〉

2年(2010)12月5日(日曜日)
八戸—新青森間 運行 営業開始から28年半
2010年(平成22年)6月25日(金曜日)
「宇宙カボチャ」の種を播える東北育英小の子どもたち

2010年(平成22年)11月28日(日曜日)
盛岡山手小「手わざ文庫」開設式典
「くわんどくわん」
国民読書年

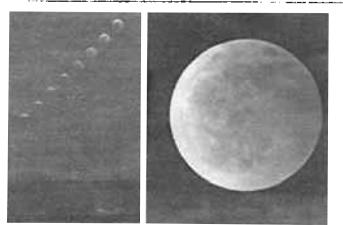
実践びびっと——1 新聞読み聴かせⅢ

事例3

〈子どもに知らせたい記事〉



毎日小学生新聞 2010年12月24日(金曜日)



月が赤くなったよ！

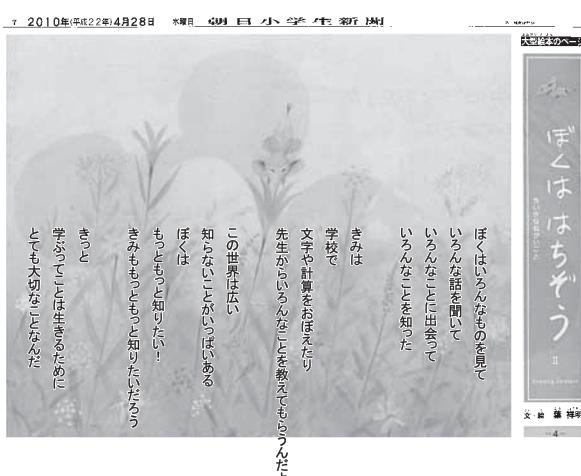
月全体が地球の影にすっぽり隠れる皆既月食が21日夕に起きました。国内では2007年8月以来3年ぶりです。しかし、低気圧や前線の影響で雲に覆われた地域が多く、鮮やかに見えたのは北海道を中心とした北日本などにとどまりました。

北海道太平洋側のむかわ町では欠けた月が東の空に徐々に昇り=写真②・合成、午後4時40分に皆既月食。太陽の赤い光だけが地球の大気で屈折して月に届き、神秘的な赤銅色に輝きました=写真③、札幌市。国内で次に皆既月食が見られるのは2011年

月が地球のかけにすっぽりかくれて
しまつ」とを
皆既月食（かいきげつしょく）

事例4

〈子どもの心を育てる記事〉



学ぶことは
知らないことを知ること

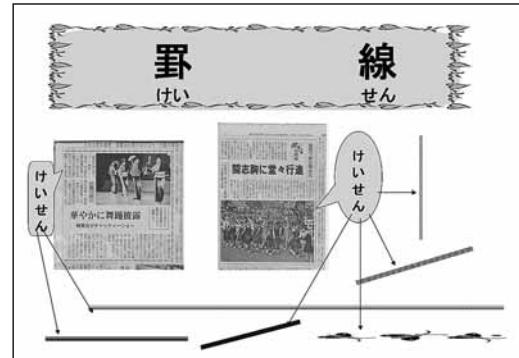
できなかつたことが
できなかつたことが
できなかつたことが
できなかつたことが



4. あれこれアドバイス

- ① 子どもたちは、新聞記事の文字が小さく漢字も多いので、記事よりも「マンガ」や「写真」「スポーツ記事」などの方に興味を示し、その他の記事はあまり読もうとしないことが多いように思います。そこで、読み聴かせる記事は、子どもたちの年齢や状況に応じてあまり長くないもので写真やイラストのある親しみやすい記事を選択すると良いでしょう。
- ② 記事の中の難しい言葉については、読みながら具体的な事例で説明し、読み終わってから再度説明するなどの細やかな配慮が必要です。
- ③ 読む前は、記事に対する興味を喚起するために記事に関連するようなことを話してやることも良いでしょう。
- ④ 小学生新聞の場合は、最初に一人で読ませると効果的なようです。
- ⑤ 記事の内容にもよりますが、読み聴かせの途中で、または、読み聴かせたあとに、子どもの感想をもとに話し合うと記事に対するイメージを広げたり深めたりすることができます。
- ⑥ 記事の内容をプロジェクター等で映像化して読むことも、子どもたちの記事に対する理解を深めることになります。

〈プロジェクターを使った読み聴かせの例〉



5W1Hをさがそう

ねらい

- 新聞記事の大事な要素の5W1Hを見つけ出し、記事の概略を理解することができる。

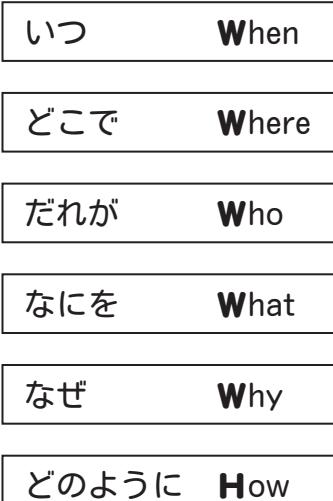
5W1Hをさがそう とは

いつ(When)・どこで(Where)・だれが(Who)・なにを(What)・なぜ(Why)・どのように(How)という文章の基本的な構成要素を、新聞記事の中から見つける活動です。



1. 準 備

- ① 5W1Hの掲示用紙
- ② 鉛筆・消しゴム
- ③ 赤ペン・蛍光ペン・目立つ色のペン
- ④ 小学生新聞や一般の新聞
- ⑤ 新聞記事のコピー
- ⑥ 5W1Hを書いたカード



2. 進め方

- ① 5 W 1 Hのカードを提示して、簡単に説明をします。

英語	発音	意味
When	ホエン	いつ (どんなときに)
Where	ホエア	どこで (どこに、どこへ、どこから)
Who	フー	だれが (どんな人が)
What	ホワット	なにを (どんなことを、どんなものを)
Why	ホワイ	なぜ (どうして、なんのために)
How	ハウ	どのように (どんなふうに、どうやって)

- ② コピーした新聞記事を使って、実際に文章の中から 5 W 1 Hを見つけ、蛍光ペンで色分けして印をつける。

中学生3年生に披露
「先輩」の実技

盛岡南高体育科の中学生3年生が、3年ぶりに開かれた「組み体操」の発表会で、これまでの練習を凝縮した演技を披露した。この演技は、内各地の中学生ら約250人が参加し、生徒を代表して佐々木大貴君(3年)は、「先輩が築き上げてきた伝統を引き継ぎたい」と意欲を高めていた。

やまと中学校(83年卒)と保護者(36人)は、吉田元校長(24日)が、大会を開き、組み体操(実技発表)を行った。

盛岡地区をはじめ県内外各地の中学生ら約250人が参加。生徒を取り組んできた。体育科116人が皆さんに感動を与えるられる演技を披露したい」とあり、生徒は、授業で取り組んでいる「体育科体操」や創作ダンス「よさこい」「ラン」などを披露した。太君は「かなりの練習量がないと絶対できないと思った。体育科に進学したい気持ちが高まっている」と笑顔で語った。

実技発表会で組み体操を披露する盛岡南高体育科の1年生

〈色別の例〉

い	つ	: 赤		
ど	こ	で	: 黄	
だ	れ	が	: 青	
な	に	を	: 緑	
ど	う	し	て	: 茶
どのように			: 紫	

2009年(平成21年) 10月28日(水曜日)

③ 選び出した 5 W 1 H を発表し合います。

19

3. 実践例

第三章

平成21年(2009)11月4日 (水曜日)



- ① コピーした新聞記事を使って、実際に文章の中から 5W1Hを見つけ、蛍光ペーパーで色分けして印をつけます。
 - ② さがした 5W1Hを発表させて、一覧にしてみました。

5 W 1 H	内 容
い つ	2日夜・11月2日の夜・毎日午後8・9・10時、日没から午前0時
どこで	北上市諏訪町、青柳パーキング内、広瀬川せせらぎ緑道沿い
だれが・どんな人が	実行委員、北上を灯す会、参加者60人が、参加者全員…
なにを	点灯式、カウントダウン、モミの木、イルミネーション
な ぜ	明るい話題をつくりたい、まち（北上市）の活性化、多くの人に見てもらい幸せな気分を味わってほしい
どのように、どうやつ てどんなふうに	2万5,000個の発光ダイオードが幻想的な世界を演出、パーキング内上部にはワイヤを通して複数のLEDで飾り北上川をイメージ、天使のオブジェや…

※ 子どもたちから出される要素は、いろいろあるがどれも間違いとは言えないと思う。

ここでは、「一つの記事文には、5W1Hの要素は複数ある」ということに気付かせたい。

4. バリエーション

○ 5W1Hをさがそうと作文ゲームを組み合わせる場合

直接新聞記事から5W1Hをさがすのは、記事文の背景にある複雑なことからや漢字の読みや内容から考えて難しい場合があります。そこで、作文ゲーム（注1）を組み合わせることで、楽しみながら5W1Hをさがすことができるようになります。（注1：作文ゲームについては、前回発行したマニュアル1のP48を参照）

- 作文ゲーム → 5W1Hをさがそう（導入のためのゲーム…主に低学年）
- 5W1Hをさがそう → 作文ゲーム（定着のためのゲーム…主に中高学年）
- 5W1Hをさがそう → 作文ゲーム → 5W1Hをさがそう
(定着をより確実に…子どもの状況により)



5. あれこれアドバイス

- ① ゲームの進め方はいろいろ考えられますが、低学年のは場合は、まず言葉による作文ゲームをやってから新聞記事で説明した方が分かりやすいようです。
- ② 利用する新聞は、「子どもの興味・関心・わかりやすさ」という点から考えると、小学生新聞が効果的だと思います。また、地方紙を使うのも子どもの身近なニュース記事ということから、意欲的に取り組んでくれるようです。
- ③ この場合の新聞記事は、子どもに関係のあるものや興味のもてるもの、そして5W1Hがわかりやすいものを与えるようにしましょう。
- ④ 子どもの状況によっては、リードが付いている一般紙の記事で、リードを用いて5W1Hをさがすのも比較的わかりやすいと思います。
- ⑤ 新聞記事に5W1Hが必ずあるとはかぎらず、6つの要素がきちんと揃っていることもあまりなく、順序もいろいろです。したがって、見出しや写真、イラスト等に目を向けさせて、記事文が伝えたいことは何かを考えさせることも大切です。さらに自分で記事を書くときの文章表現も5W1Hを意識して書くように習慣づけさせたいものです。

リードを書こう

ねらい

- リードとは何かを理解する。

リードを書こう とは

リードの役割を知り、記事の要点を読み取って短い文にまとめる活動です。



1. 準 備

- ① 同一日付の新聞
- ② 赤ペン・蛍光ペンなど、目立つ色のペン
- ③ 鉛筆・消しゴム
- ④ 新聞のコピーー

新聞のコピーは

- (1) 一段落目がリードのようになっている記事
- (2) リードのない記事
- (3) リードの部分を隠した、リードのある記事

などを準備します

2. 進め方

- ① リードのある新聞の記事（1面のトップ記事等）を示しながら、リードについて説明をします。

〈リードとは〉

- ニュースを詳しく説明する前に、ニュースの要点をわかりやすく短くまとめた文です。
- 新聞では、大きなニュースの場合は見出しのあとにリードが書かれています。
- 結論を先に書いて、本文を読まなくとも記事の内容が把握できる前文のことをいいます。

- ② コピーした新聞記事をみんなで読み合わせをします。

- ③ 文の基本である要素『いつ、どこで、だれが、なにを、どうした、どうなった』をみんなで確認します。

- ④ 要素に注意をしながら各自もう一度記事を読み、目立つ色のペンで印をつけます。

- ⑤ 問題用紙に要素を書き出し、組み合わせて文を書きます。

- ⑥ 書いた文を発表し合い、できた文がリードになっていることをみんなで確認し合います。

- ⑦ 更に、要素の順番を入れ換えて同じ意味のリードになることを確認します。

いつ 6月5日
 どこ 市生涯学習センター
 だれ 第一回子供じぶんクラブ
 なにを 読み取らせなど
 どうなった 開かれ
 どうなった新聞に親けられた (見たしや記事)
 写真

まずは切り抜き

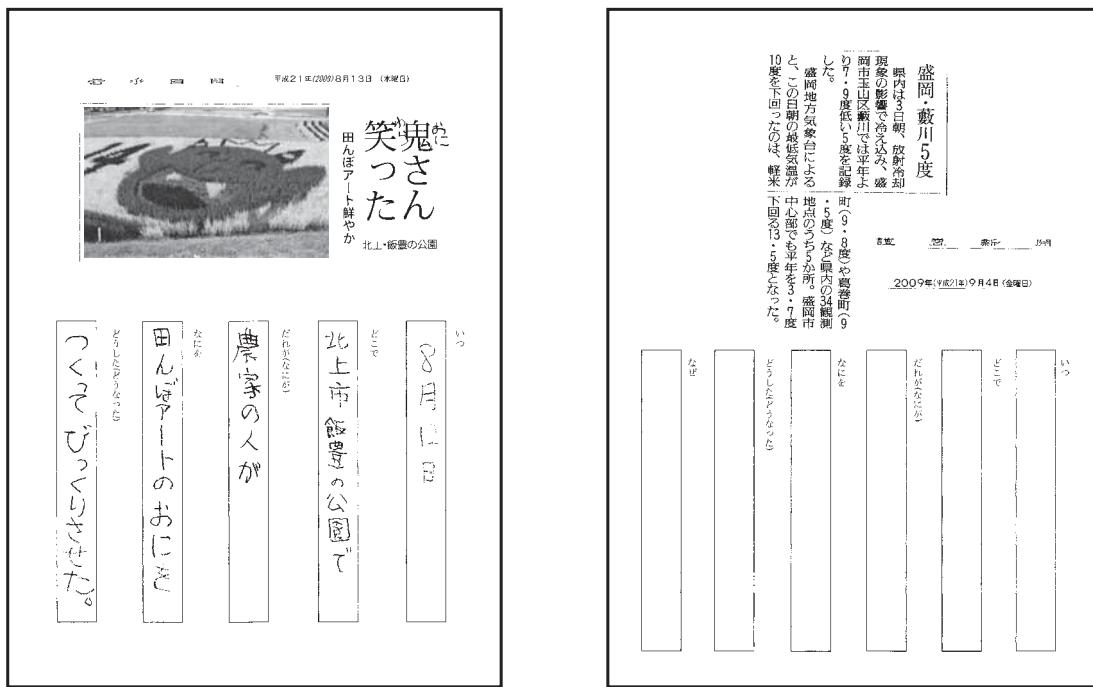
平成22年(2010)6月6日(日曜日)

(1) 6月5日
 市生涯学習センター
 新聞に親けられた
 第一回子供じぶんクラブ
 開かれ
 (2) 市生涯学習センター
 開かれ
 6月5日
 第一回子供じぶんクラブ
 開かれ
 新聞に親けられた
 (3) 6月5日
 市生涯学習センター
 第一回子供じぶんクラブ
 開かれ
 新聞に親けられた

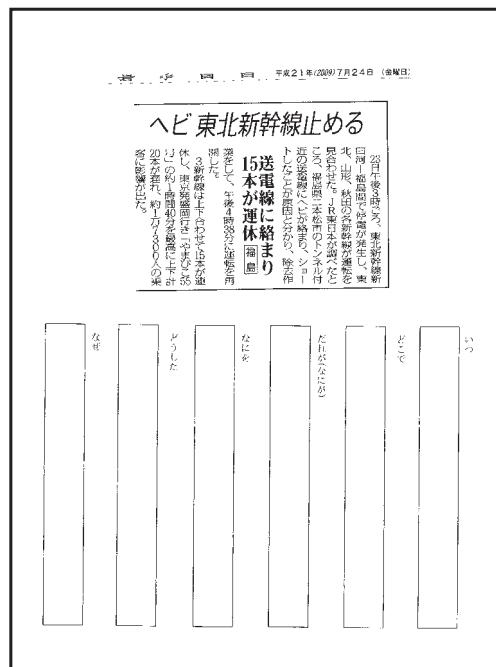
3. バリエーション

慣れるまでは、予め文の基本要素を記載した問題用紙を用意すると取り組みやすいでしょ。

- ① • 写真のない新聞記事をコピーした問題用紙に言葉を入れ、リードを書きます。
- 日付や見出しも参考にしてリードを書きます。

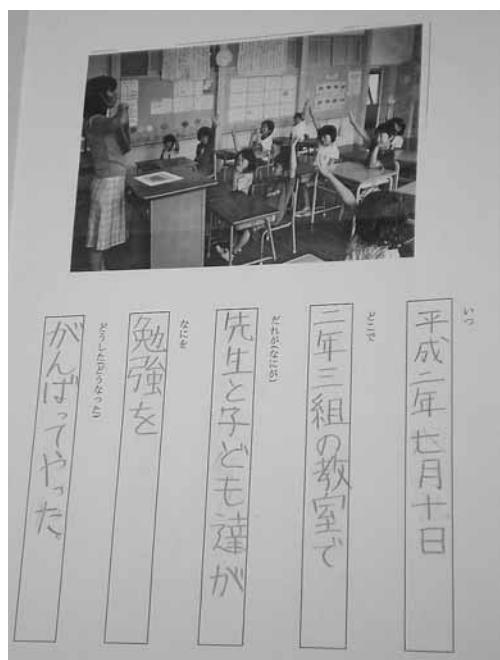


- ② • 新聞記事の日付と見出し・写真のみをコピーした問題用紙に言葉を入れ、リードを書きます。
- 見出しや写真の説明書きからニュースの内容を考え、リードを書きましょう。
 - 実際の新聞記事と読み比べ、違いを見つけます。



③ • 写真だけが載った問題用紙に言葉を入れリードを書きます。

- 写真を見て、状況を想像してリードを書きます。よく観察して季節や内容を把握して書きます。
- 『物語』にならないように注意をさせます。
- 問題をつくる際には季節などの内容がわかりやすい写真を選ぶと、『物語』にならず、リードが書きやすいでしょう。



4. あれこれアドバイス

- ① 低学年は、リードのない小さな記事を使い『いつ、どこで、だれが』の3つの要素を選ぶことから始めてリードを書くとわかりやすいでしょう。
- ② 取り上げる新聞記事は、できるだけ子どもたちの興味関心のあるものを選ぶとよいでしょう。
- ③ 小さな記事では、一段落目が記事のリードの役割をしていることに気づかせます。

自己紹介新聞をつくろう

ねらい

- ・新聞の持つ情報発信性に触れながら、自己発信力を養うことができる。

自己紹介新聞をつくろう とは

自分を知ってもらう一つの方法として、自己紹介を新聞のかたちにまとめる活動です。

1. 準 備

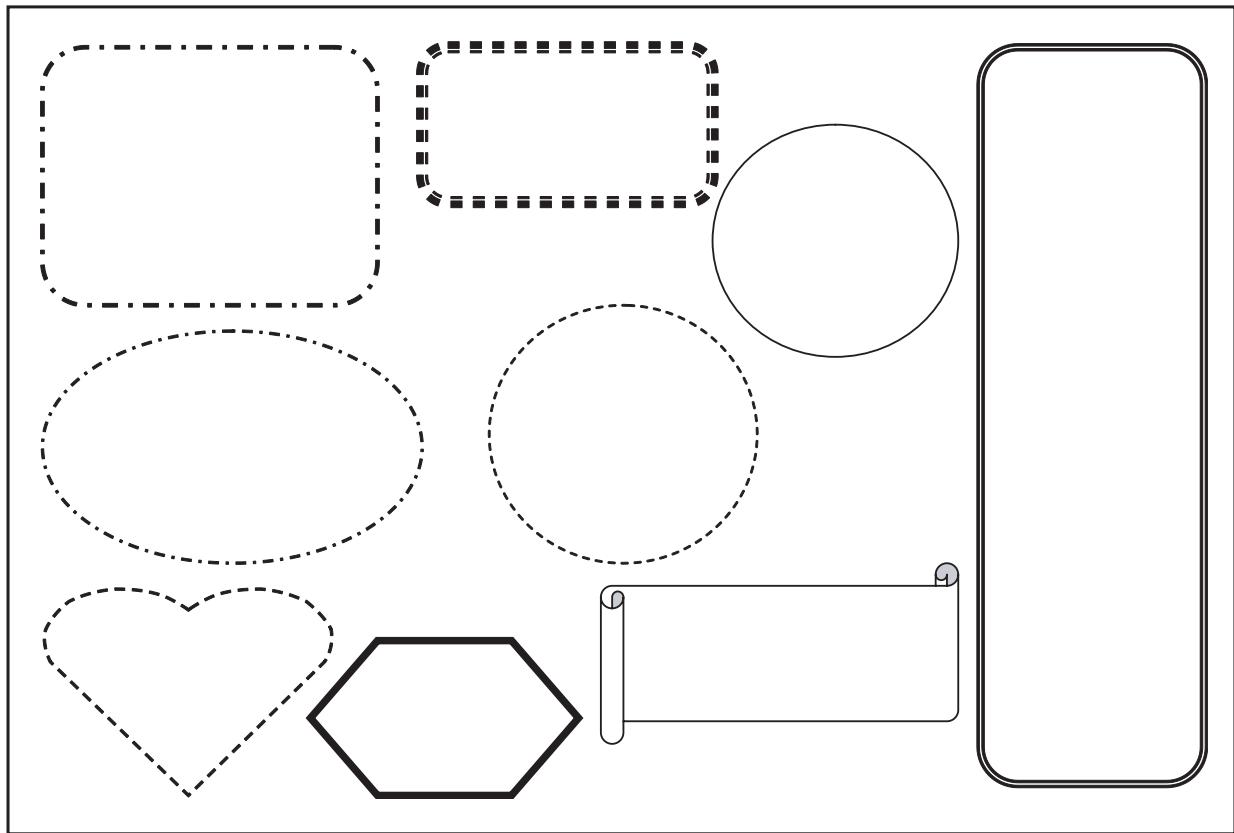


- ① 個人新聞用紙
- ② 鉛筆・消しゴム
- ③ はさみ・のり
- ④ いろいろな形を印刷した用紙
- ⑤ 例として提示する自己紹介新聞の見本

いろいろな形の用紙のつくりかた

- ・丸や四角・ハート・星など、いろいろな形を線で描いたものを準備します。
- ・大きさは大小あっていいのですが、形の中に文を書ける程度のものにします。
- ・線は、それ自体が目立ち過ぎないようにします。

〈いろいろな形の用紙〉

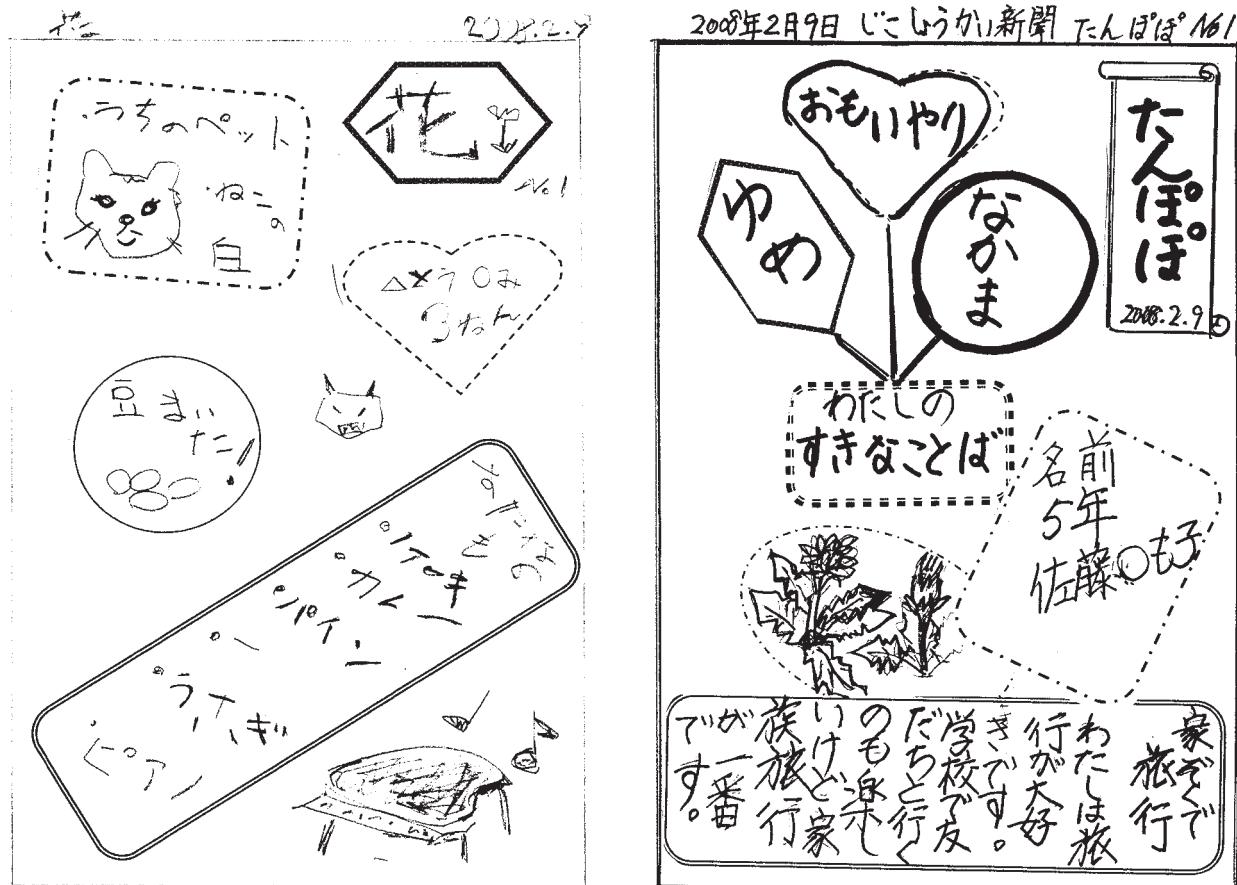


〈見本〉

2. 進め方

- ① まず、自己紹介する時に伝えたい項目（名前・学年・趣味など）を挙げてもらいます。
- ② 次に、見本の自己紹介新聞を配って提示します。（前掲見本参照）
- ③ ①で挙げた各項目をいろいろな形にそれぞれ記入して、切り取ります。
- ④ ③で作ったピースを新聞用紙に置いて、全体のレイアウトを考えます。
- ⑤ 必要な部分は直に用紙に記入し、各ピースをのりづけして仕上げます。
- ⑥ 完成したら、お互いに見せ合ってみましょう。

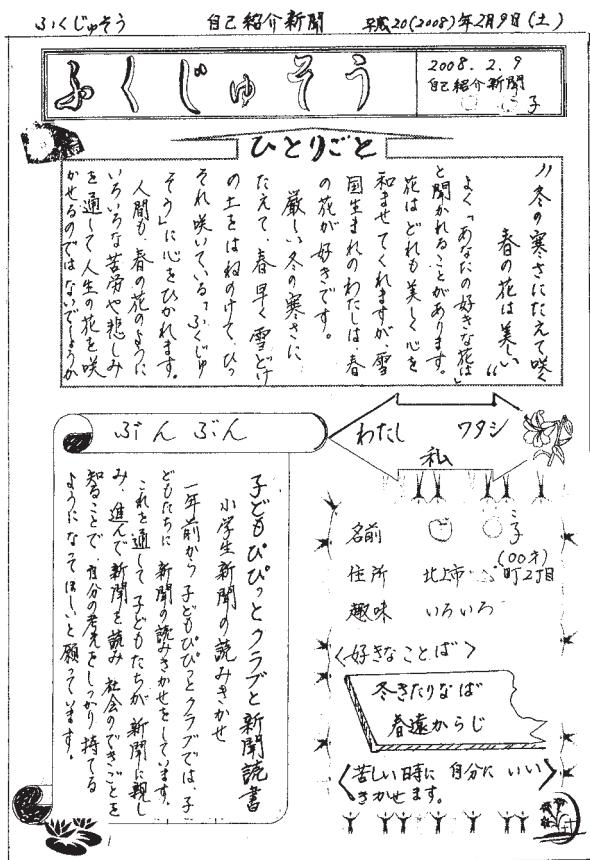
〈作品例〉



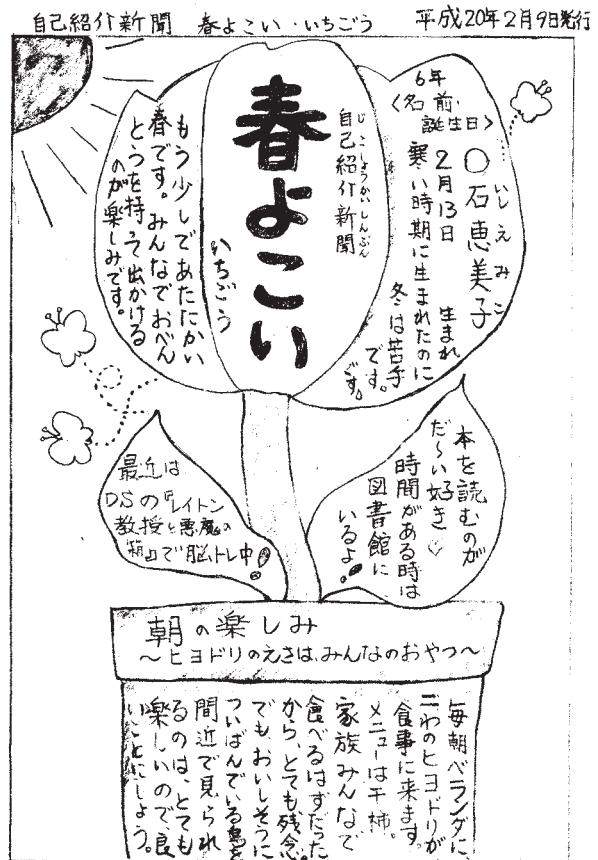
3. あれこれアドバイス

- ① 各ピースにはそれぞれひとつずつの項目を記入するようにしましょう。
- ② 各ピースをいろいろと並べ替えることで、全体のレイアウトについて自然に考えて行けるようです。
- ③ 各ピースについては、提示したもの以外にそれぞれ自由に考えた子どもたちのオリジナルを足して仕上げても楽しいです。
- ④ また、作品2のように、ピースを全く使わず自由に書いてみるのもいいでしょう。
- ⑤ 「自己紹介新聞」は、個人新聞の導入のひとつとして取り組んでみるのもいいようです。

〈見本例〉



〈作品例〉



イラストあれこれ

〈新聞にみるイラスト〉

新聞の主な要素には見出しや写真・記事文などが挙げられますが、そのうち最も視覚に訴える情報が写真です。同様に、視覚的なアピール効果を狙って描かれたイラストは新聞にとって欠かせない要素であり、実際新聞を開いてみると、写真と並んで記事や広告の中に様々なイラストを見ることができます。

〈子どもぴっぷとクラブでのイラスト〉

子どもぴっぷとクラブでは、新聞のイラストをスクラップして集めたり、自由に描かせたり、挿入したりと、様々に活用しています。

基本的に子どもたちは絵を描くことが大好きです。こちらから何か言わなくても自主的に絵は描きますし、加えて記事と連動した絵を意識させることによって、情報の視覚的表現として新聞を自然に盛り立てることができているように思います。



〈写真とイラストの違い〉

写 真…実際の風景や事象・人物・物などを、そのまま写し取ったもの
イラスト…内容・イメージが伝わりやすいように、簡略化あるいは誇張して表現した絵

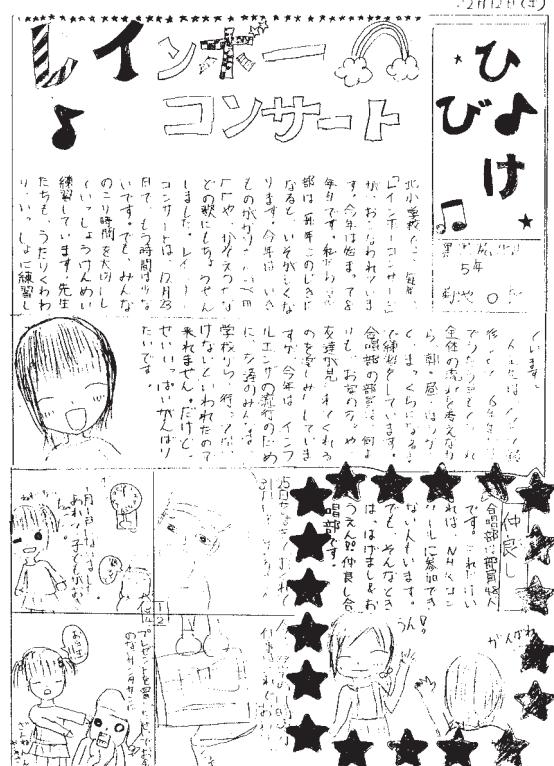
〈イラストの新聞スクラップ〉



〈子どものイラスト〉



〈子どもの新聞に描かれたイラスト〉



ぴっぷとハガキ新聞

ねらい

- 新聞の構成を学びながら、新聞を書くことに親しむ。

ぴっぷとハガキ新聞 とは

身近な出来事や関心事などを、ハガキサイズの小さな新聞にまとめて行きます。



1. 準 備

- ① 一般の新聞
- ② ハガキサイズの用紙
- ③ 鉛筆・消しゴム
- ④ いくつかの作品例

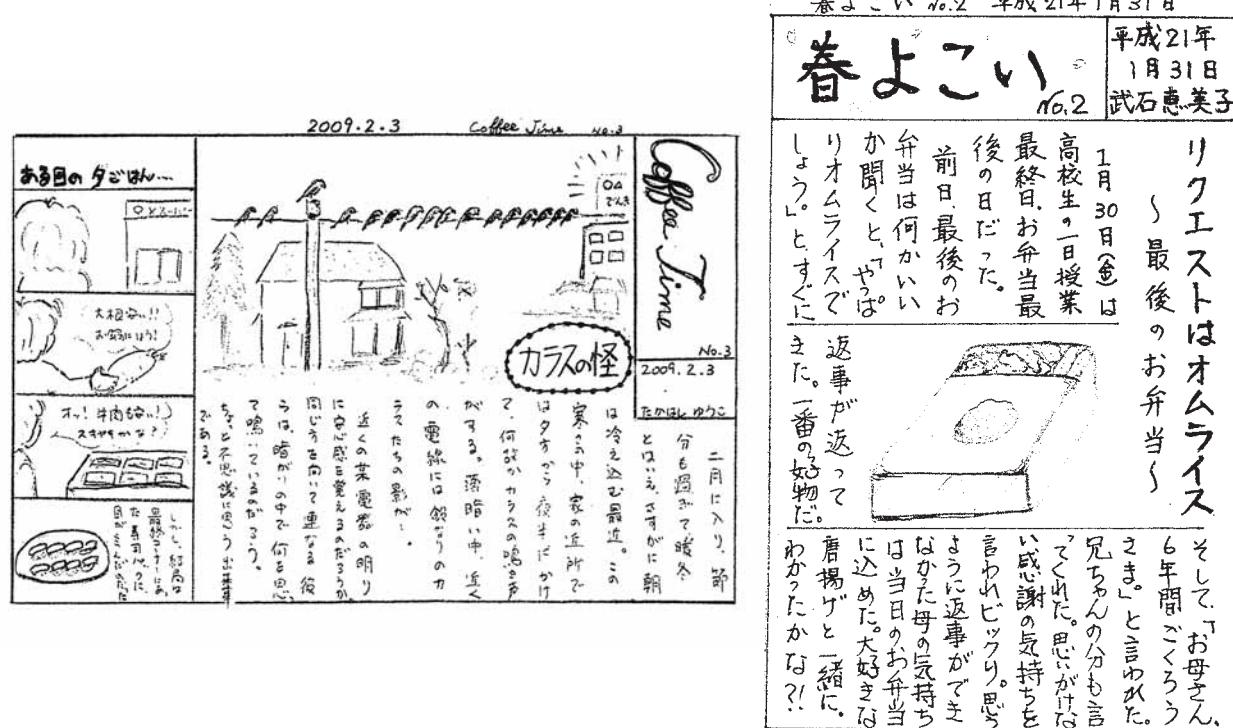
ぴっぷとハガキ新聞

通常ハガキは特定の相手に対して届けるのですが、ここで取り上げた「ぴっぷとハガキ新聞」では、サイズが小さいということからA4やB5判の個人新聞を書いていくまでの導入的な意味合いを持たせています。手ごろな大きさということで、低学年の子や全く初めての子でも比較的スムーズに取り組めるようです。

見出しやレイアウトを考えたり、記事文をコンパクトにまとめたりしていくことで、新聞を書く楽しさに気付かせて行きます。

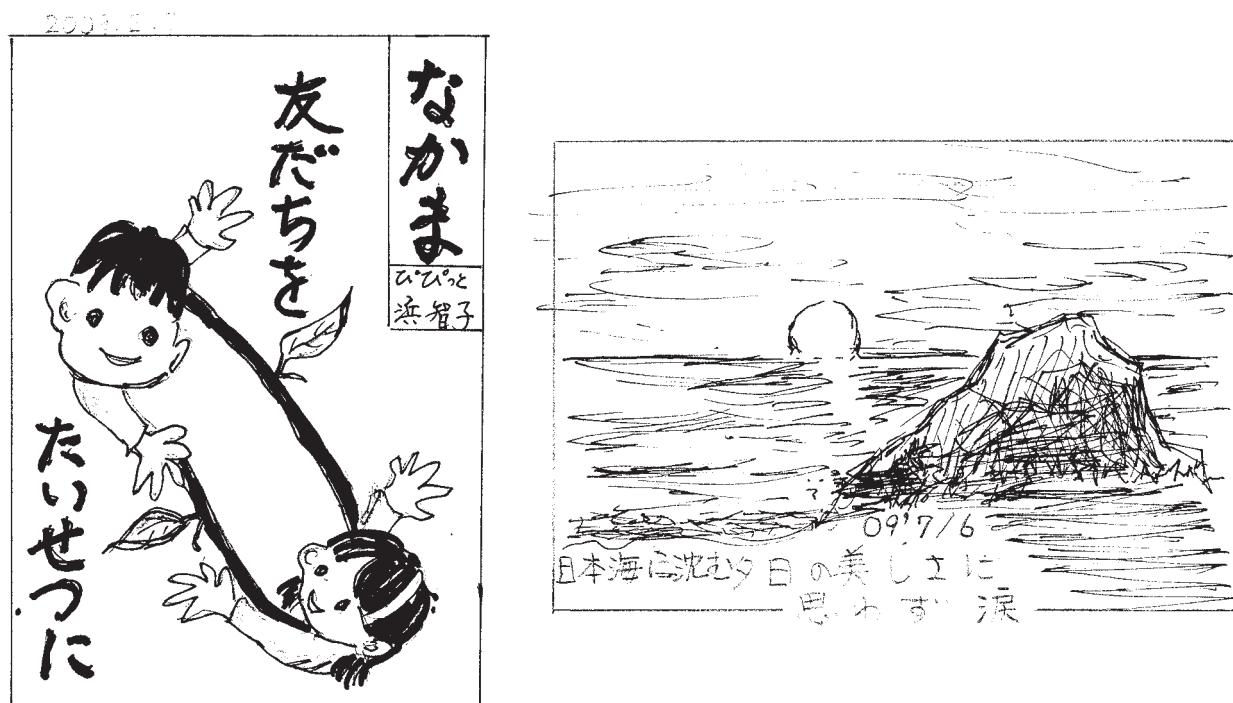
作品例（見本1）

ミニ新聞



作品例（見本2）

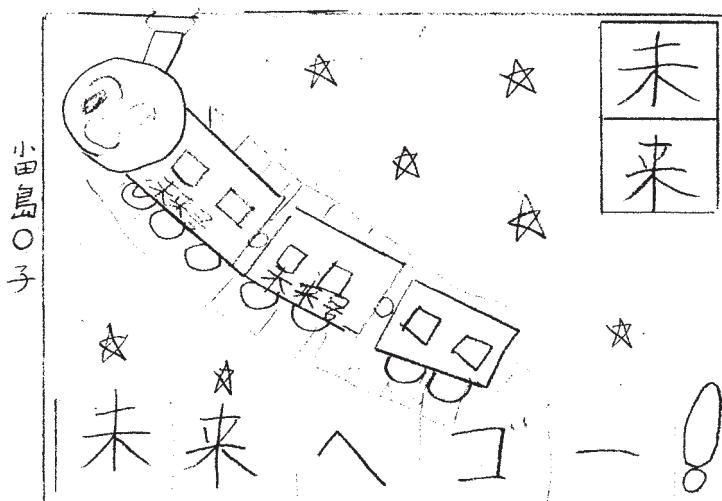
絵手紙



2. 進め方

- ① まず、新聞の1面を広げて、題字（題号）・日付・発行者・見出し・記事文などを簡単に説明します。
- ② 次に作品例を提示して、各自イメージを持たせます。
- ③ 各自好きなハガキ新聞の用紙を選ばせます。
- ④ まず、用紙の外ワクの線を引かせます。
- ⑤ 題字・取り上げる記事を考えさせます。
- ⑥ 題字・見出し・記事文など全体のレイアウトを考えます。
- ⑦ 実際に新聞を書いていきます。
- ⑧ 最後に各自の作品を見せ合いましょう。

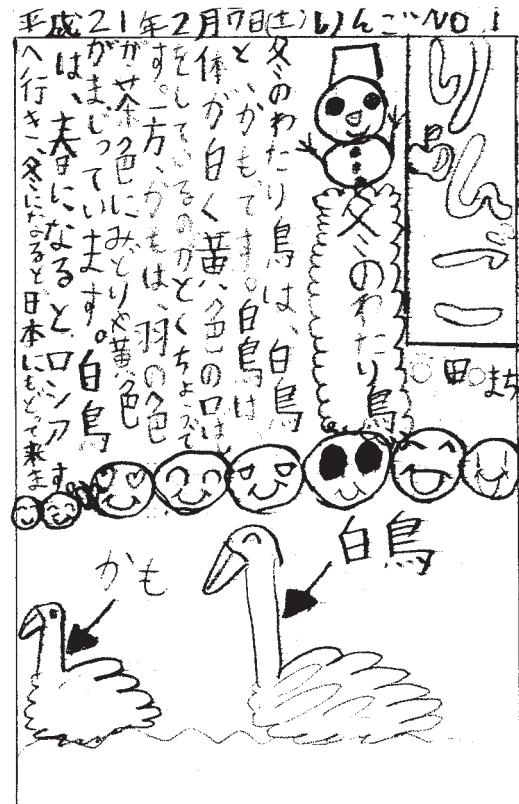
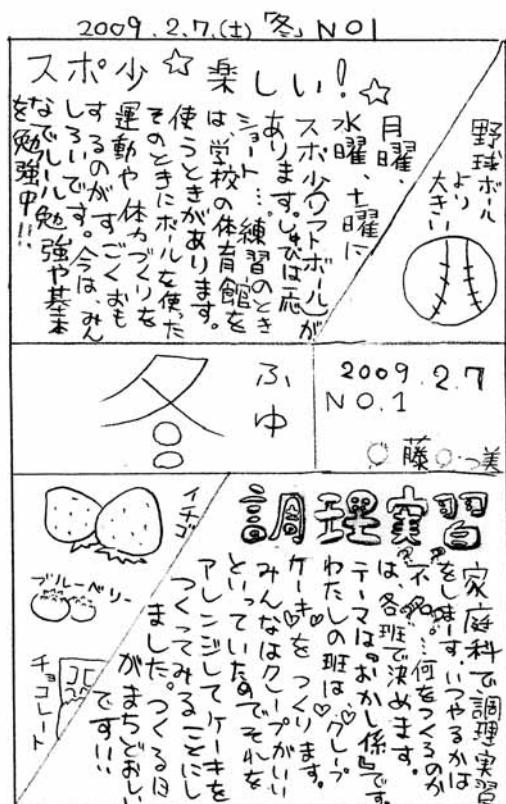
作品例 1



3. あれこれアドバイス

- ① 作品には、必ず題字・日付・発行者名を入れることを伝えましょう。
- ② 取り上げる題材は、「学校でのこと」「家庭での出来事」「今、興味を持っていること」など、何かテーマを与えてよいと思います。
- ③ イラストについては、記事に関連したものを描かせましょう。（新聞記事の写真的な意味合いを持たせたいということです。）
- ④ 低学年の中や文章が苦手な子には、イラスト部分を大きく取った絵手紙的な新聞からチャレンジさせると入りやすいようです。
- ⑤ 仕上がりの速い子には、いろいろなパターンの新聞にチャレンジしてもらうと、より楽しく取り組めるようです。

作品例 2



ぴっぷとスクラップ新聞

ねらい

- 同じ出来事でも、新聞によって取り上げ方が違うことを知る。

ぴっぷとスクラップ新聞 とは

複数の新聞に掲載された同じ出来事の記事をスクラップし、それを比べて感想などを書き、新聞をつくる活動です。

1. 準 備



- 同じ記事が載った複数の新聞
- スクラップ用台紙 (A3判以上がよい)
- 新聞原稿用紙 (感想などの記入用)
- はさみ・のり
- 鉛筆・消しゴム
- 見本例

〈新聞の選び方〉

- 地方紙は身近な記事が多く、興味を持って取り組むことができるでしょう。
- 子どもたちが興味のあるスポーツ面などを取り上げるのもよいでしょう。

2. 進め方

- ① 複数の新聞を読み比べ、同じ出来事の記事をさがします。
- ② その中から興味のある記事を選びます。
- ③ 選んだ記事を切り取ります。
- ④ 題号の位置等全体のレイアウトを決めます。
- ⑤ 切り取った記事を貼ります。
- ⑥ 記事を読み比べ、感想・意見等を書きます
- ⑦ 題号・日付・名前等を書き新聞を完成させます。



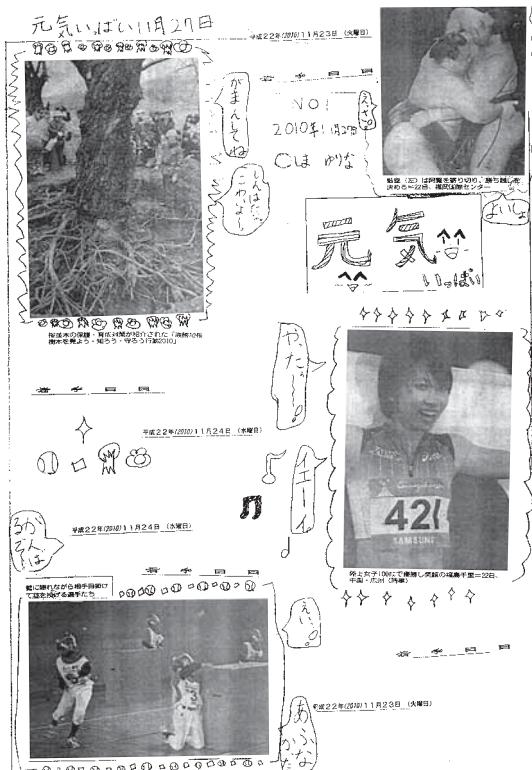
3. バリエーション

その1 複数の新聞で同じ記事を扱った写真を比べ、感じたことを書いて新聞を作ろう。

その2 複数の新聞で同じ記事を扱った見出しを比べ、感じたことを書いて新聞を作ろう。

その3 読み比べが難しい場合

① 1・2年生など低学年で初めての場合は、1枚ごとの写真の感想を書いて新聞を作るのもよいでしょう。



〈その1 写真を比べた新聞〉



② 一つの記事を読んで感じたことを書いて新聞を作るのもよいでしょう。



4. あれこれアドバイス

- ① 記事を選ぶ時には、見出しや写真を参考にするとわかりやすいようです。
- ② 記事文をしっかりと読み込むと、各新聞の視点が違うことにも気付くでしょう。
- ③ わからない事を調べて書くことで、記事への理解が深まります。
- ④ お互いの作品を見て感想を発表し合うと、自分では気づかなかったことや感想の違いに気づくことができるでしょう。
- ⑤ 見本では、完全に仕上げたものだけではなく、製作途中の新聞もあった方がよいでしょう。(子どものイメージができやすいようです。)

〈見本例〉

まめ記者になろう

ねらい

- 体験した事・取材した事を新聞にまとめることで、自己発信力を養うことができる。

まめ記者になろう とは

いろいろ体験したことを取材しながら新聞にまとめていく活動です。



1. 準 備

- ① 個人新聞用紙
- ② 鉛筆・消しゴム
- ③ メモ用紙
- ④ 例として提示する体験新聞の見本

体験新聞

子どもびびっとクラブでは、毎年最後の回に特別講師として茶道の先生（裏千家師範 大島宗礼先生）をお招きし「茶道に親しむ」という活動を行なっています。それは子どもたちにとって接する機会の少ない日本の伝統文化のひとつに親しませたいということと同時に、その体験で知ったこと・感じ取ったことなどを新鮮なままに新聞にまとめてもらう機会としたいからです。実際お菓子やお抹茶を頂くだけではなく、話を聴いてメモを取ること・疑問があれば率直に質問することなど、取材体験も味わってもらっています。

2. 進め方

- ① 体験新聞の例を提示して、活動内容を説明します。
- ② 講師先生のお話しをメモにとります。
- ③ 実際に体験します。
- ④ 更に疑問・質問などを講師先生に取材します。
- ⑤ 各自新聞にまとめます。
- ⑥ 最後に各自の作品を見せ合いましょう。

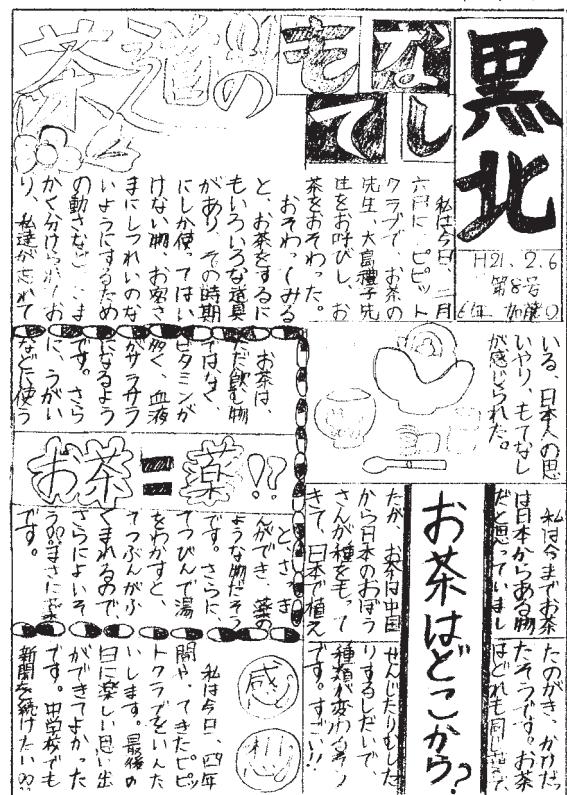
〈実践例 1 茶道に親しむ〉

茶道体験をして新聞にまとめます。



〈作品例 1〉

H22.2.6 第8号 加藤



〈実践例2 新聞記者さんのお話を聴こう〉

新聞記者さんの話を聴いて新聞にまとめます。



〈作品例2〉

今回は囲み記事にまとめました



〈子どもたちの囲み記事から〉

記者の人に聞いた話

記者の人は10月4日生まれだそうです。それと、記者になろうと思ったきっかけは、大船渡でじしんのひがいがあった時がんばれと、おおえんできるかな、と思ったからだそうです。

記者になってたいへんだったこと

楽しかったこと

たいへんだったことは真夜中に仕事に行くことで、楽しかったことは全国で話題になっているところに自分が行けたことだそうです。

どうして記者になったの？

理由は「岩手県で、仕事や勉強などをがんばっている人たちを、みんなに教えないから」だそうです。新聞記者になるまでは、いろいろな苦労も体験したらしいです。本当に大へんだとと思いました。

3. あれこれアドバイス

- ① 作品には、必ず題字・日付・発行者名を入れることを伝えましょう。
- ② 体験・取材した中で自分が一番伝えたいことをトップ記事にします。
- ③ イラストについては、記事に関連したものを描かせましょう。
- ④ 自分が質問して取材したことは、囲み記事でもよいので必ず載せるようにしましょう。
- ⑤ 低学年の中や文章が苦手な子には、サイズが小さいハガキ新聞やイラスト部分を大きく取った絵手紙的な新聞からチャレンジさせるとよいようです。
- ⑥ 体験させる内容は、子どもたちにとってあまり経験していないものの方が、興味・関心を引くことができるよう思います。

〈作品例 3〉



広報や広告を知ろう

ねらい

- ・新聞には数多くの政府広報や広告が載っていることに気づき、その告知性を知る。

広報や広告を知ろう とは

政府広報や広告に着目し、広報と広告の違いを比較します。

また、広告を使って遊びながら新聞に親しみます。



1. 準 備

- ① 新聞各紙と政府広報が掲載している日の新聞
- ② 政府広報と広告のコピー
- ③ 鉛筆・消しゴム
- ④ 消しゴム
- ⑤ 赤ペン・蛍光ペン・目立つ色のペン
- ⑥ はさみ・のり

〈政府広報の例〉

5月は「自転車月間」です

政府広報

—自転車安全利用五則—

- ◆自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ◆車道は左側を通行
- ◆歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ◆安全ルールを守る
 - 飲酒運転・2人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ◆子どもはヘルメットを着用

詳しくは、HP(<http://www.npa.go.jp/bicycle/>)まで

警察庁

2010

国民読書年

じゃあ、読もう。

文部科学省

2. 進め方

- ① 新聞には政府広報や広告が載っていることを説明します。
- ② 政府広報が掲載の新聞やコピーした政府広報を配布します。
- ③ 政府広報をさがし、ペンで印をつけます。
- ④ 気に入った広告を選び、ペンで印をつけます。
- ⑤ 政府広報と広告をスクラップします。
- ⑥ 自分で広告を書いてみましょう。
- ⑦ 広告を使って遊んでみましょう。

〈広報と広告の違い〉

- ① 政府広報とは「政府がマスコミに向けて情報を発信し、それがマスコミの報道を通じて社会に情報伝達されるもの。(公共の福祉に貢献し、啓発活動を目的とする民間の公共広告機構の広告は政府広報と共通性をもつ。)
- ② 広告とは「新聞や雑誌のスペース、ラジオやテレビの時間を買って、その中で企業のメッセージ(新製品情報を含む)を伝えていくこと。
- ③ 相手が知りたいことを言うのが広報。自分が言いたいことを言うのが広告。
- ④ 広報はニュース、広告はメッセージ

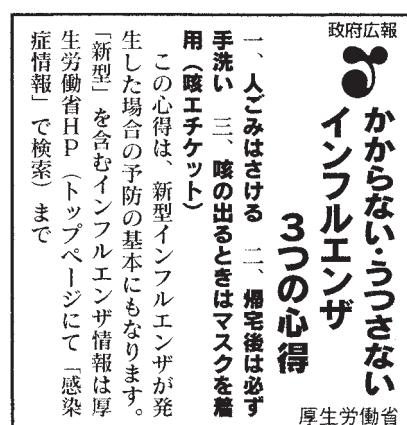
広辞苑から

広報とは、広く知らせること。また、そのしらせ。

広告とは、[広告] (advertisementの訳語として明治5年頃新たに造られた語) 広く世間に告げ知らせること。特に、顧客を誘致するために、商品や興行物などについて、多くの人に知らせるようにすること。また、その文書・放送など。「—を出す」「開店を—する」

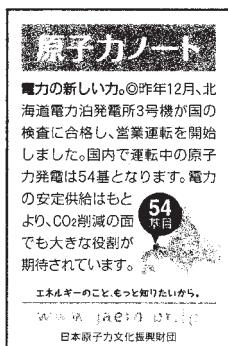
ステップ1

★ 政府広報にはさまざまあることを知ろう。



ステップ2

★ いろいろな広告をスクラップしてみよう。

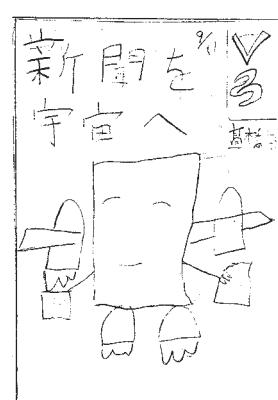
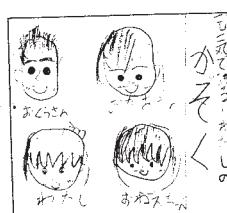
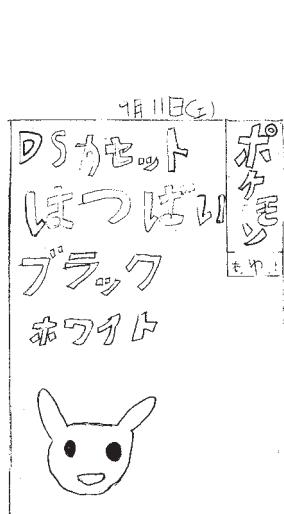


〈素敵な広告ないかな〉



ステップ3

★ 自分で広告を書いてみよう。



ステップ4

★ 広告を使って遊ぼう。

① いきものペアカードで遊ぼう！

〈ペアカードの遊びかた〉

- ☆ キリトリ線にそってカードを切り取る。
- ☆ カードを裏返しにして、バラバラにならべる。
- ☆ ならべたカードから順番に1人ずつ2枚をめくる。
- ☆ 同じ生き物（番号）がそろったら、自分のカードになる。
- ☆ 番号を多く集めた人が勝ち。…



〈いざ勝負！〉

② お店屋さんごっこを体験してみよう。

〈お店屋さんごっこの進め方〉

- ☆ 自分のなりたいお店を決める。(本・自動車・医療・電気…)
- ☆ 新聞から自分のお店にあった広告を切り取って集める。
- ☆ 開店準備をする。
 - 商品をならべる。
 - 商品に値段をつける。
 - 広告をじっくり見て個々の商品のおすすめポイントを考える。
- ☆ お店の人とお客さんに分かれて遊ぶ。
- ☆ 最後に広告を読んで学んだこと・お店屋さんごっこをして気づいたことなどを発表し合う。
- ★ お金はあらかじめ準備しておく。

〈例：本屋さんの場合〉

本のびっぷと

定価1,200円(税込)
1260円

定価1,200円(税込)
1260円

著者: 香山香子
定価1,200円(税込)
840円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
840円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1260円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1575円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1785円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1575円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1365円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1470円

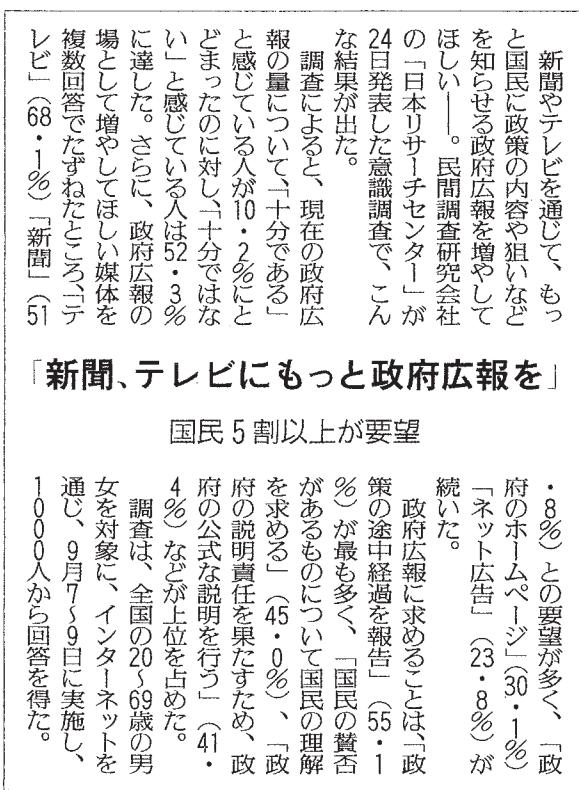
著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
2345円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1785円

著者: 佐藤千鶴
定価1,200円(税込)
1428円

2. あれこれアドバイス

- ① 広告は部分的にではなく、全体としてみるようにし、なんの広告かもメモするといいでしょう。後で分類しやすくなります。
- ② スクラップをしながら、分類するのも楽しいでしょう。(たとえば、政府広報なら府省別に：文部科学省、厚生労働省、環境省…広告なら：おわび広告、意見広告、本や読書、健康、衣類、食べ物、車、通信教育……)
- ③ 分類したスクラップを使って、ゲームやプレゼン(宣伝計画の提案)をするとさらに新聞に親しむことができるでしょう。
- ④ 自分で広告を書くときには、伝えたいことの基本要素をおさえましょう。またイラストなどを活用するとよいでしょう。
- ⑤ 公共広告機構(AC)や日本広告審査機構(JARO)がなぜできたかを調べたり、話し合ったりすると広報や広告の意味がより深まるでしょう。
- ⑥ 最後にみんなの作品を見せ合うと違いに気づき、さらに新しいアイディアが生まれるでしょう。



2010年(平成22年)9月25日(土曜日)

言葉

言葉

乗合

乗合

公共広告機構(通称AC)

全国の広告主、メディア、広告会社が会員となっている非営利組織。広告を通して、公共の福祉に貢献し、啓発活動を行なうことを目的としている。広告の内容は、公共のマナー、薬物使用やいじめ等の社会問題に一石を投じるものから、骨髄バンクのドナー登録推進、発展途上国への支援の推進、子どもの読書推進を呼びかける広告まで、多岐にわたっている。

日本広告審査機構(通称JARO)

- ① 主眼：広告・表示の質の向上
- ② 活動内容：広告・表示に関する審査・指導
- ③ 審査の基本原則：広告・表示は
 - i 公正で真実なものである。
 - ii 受け手に不利益を与えることが無い。
 - iii 児童及び青少年に与える影響を考慮する。
 - iv 品位を保ち健全な風俗習慣を尊重する。
 - v 関係法規と社会秩序を守る。

テレビ欄で遊ぼう

ねらい

- ・新聞のテレビ欄からいろいろな番組を見つけることができる。
- ・新聞の特性である一覧性から内容の多様性に気づくことができる。

テレビ欄で遊ぼう とは

新聞のテレビ欄に載っている番組の種類や数・その内容などを予想したり、当てたりして、楽しくテレビ欄と向き合う取り組みです。



1. 準 備

- ① 同じ日の新聞 2 紙
- ② 鉛筆・消しゴム
- ③ 赤ペン・蛍光ペンなど目立つ色のペン

2. 進め方

- ① テレビ欄をみて、様々なテレビ局があることを確認します。



- ② テレビ欄に載っている **N**・**天**・**多**・**字**・**S**・**二**・**再**などの略字を新聞から見つけ、意味を確認します。

N	ニュース	天	天気予報	多	音声多重	字	文字多重
S	ステレオ	二	ニカ国語	再	再放送		

③ テレビ欄からいろいろな種類の番組を（一人5個以上）見つけます。
見たことのない番組は題名や説明から内容を予想します。

- ①ニュース ②天気予報 ③スポーツ ④アニメ ⑤週刊子どもニュース
- ⑥音楽 ⑦時代劇 ⑧映画 ⑨ワイドショー ⑩バラエティ ⑪ドラマ
- ⑫テレビショッピング ⑬その他

〈参考〉

☆テレビ番組の分類（放送法の場合）

I 報道番組 II 娯楽番組 III 教育番組 IV 広告放送 V その他

☆主な分類と内容の例

I 報道番組

- ① ニュース番組 → 事実の報道。天気予報や交通情報なども含む。
全国向けのものと、地域向けのものがある。リアルタイムで状況を伝える中継放送。
- ② ニュースショー → 事実の報道に加え、ニュースキャスター やゲスト出演によるコメントを含む。
- ③ 子ども向け報道番組 → ニュースを子どもにわかりやすく説明する番組。大人にも有用
- ④ 報道特別番組 → 大きな事件や災害、事故等が起こった場合に放送する番組。

II 情報番組

- ① ワイドショー → 話題のニュースや芸能人の動向などについての情報を提供する番組。

III スポーツ番組

- ① スポーツニュース → 各種スポーツの試合の結果や今後の情報を伝える番組。
- ② スポーツ中継 → スポーツ中継は、生放送や録画放送、ハイライト放送などがある。

IV 教育番組・教養番組

- ① 学校番組（学校放送） → 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校向け番組。
- ② 幼児向け番組
- ③ 音楽教養番組
- ④ 教育番組 → NHK教育テレビに代表される大人向け子供向けの教育番組。
- ⑤ ドキュメンタリー（ノンフィクション） → 速報性より掘り下げた取材を重んじる番組。報道番組の一種でもある。
- ⑥ 一般教養番組 → 科学や生活の知恵などの知識を伝える番組。
- ⑦ 紀行番組 → 国内、国外のさまざまな地域を紹介する番組。
- ⑧ 料理番組 → 料理法の紹介を主とした番組。

V 娯楽番組 VI ドラマ VII 時代劇番組 VIII アニメ番組 IX 映画番組

X ローカル番組 その他

3. あれこれアドバイス

- ① 新聞によって、掲載されているテレビ局が違うので、他県の様子や全国の様子について調べてみましょう。また、他県の番組表が載っているわけを考えてみましょう。
- ② 番組名は内容や種類によっていろいろな表現があるので、それをアレンジしたり、新しい名前をつけたりして遊ぶのもよいでしょう。
- ③ ニュース番組や他の番組を種類別に色分けし、陣地取りをして合計時間を比べ、新聞の持つ一覧性の素晴らしさを実感しながら遊ぶのも楽しいでしょう。
- ④ 読めない漢字やわからない言葉を書き出し調べてみるのもよいでしょう。
- ⑤ 最後にみんなで「こんな番組ほしいな」についても話し合ってみよう。



出典：全国民放系列別テレビ局リンク(eionnet.comのページ)

<http://www.eionnet.com/minpo/tv.html>

ぴっぷと新聞かるた

ねらい

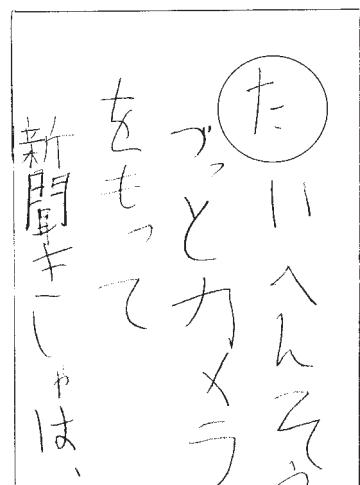
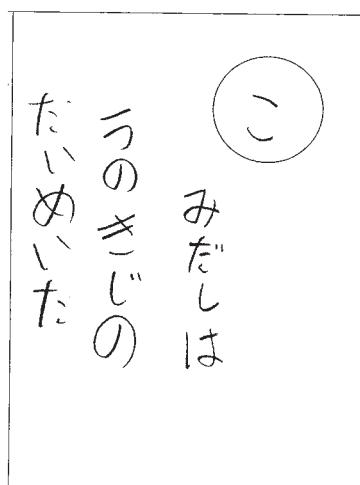
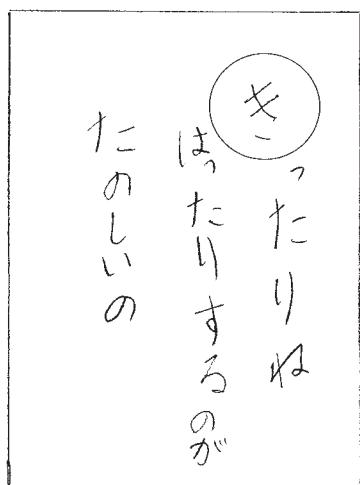
- ・新聞に関することを標語風に表現することで、より新聞に親しむことができる。

ぴっぷと新聞かるた とは

新聞を使ったいろいろな活動を通して知ったことや感じたこと、また、新聞の作り手・運び手・読み手の役割などを「かるた」のかたちにまとめる活動です。



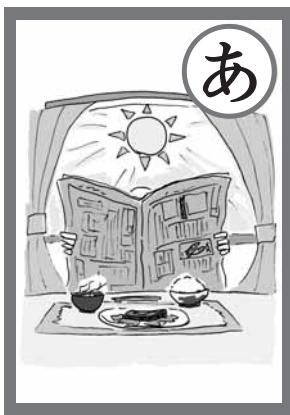
〈作品例〉



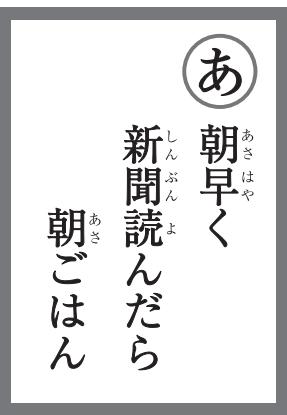
「ぴっぷと新聞かるた」の発行

子どももぴっぷとクラブでは、毎回活動の最後に新聞に関する「かるた」を書いてもらっています。「あ」「し」のように最初の文字を指定したり、「新聞配達」「見出し」などのテーマを決めたりして進めています。これまでの9年間の活動で、実際にたくさんの「かるた」が集まりました。そこで、今回その数多くの作品の中から44点を選び、実際に遊べる「かるた」を作成することになりました。

子どもたちの豊かな感性と微笑ましい日常が垣間見られるような作品となっています。来年度からは、実際に子どももぴっぷとクラブでも使う予定です。子どもたちとの新聞に関する遊びのひとつとして活用していきたいものです。(以下、「ぴっぷと新聞かるた」紹介…実物はカラー刷)



あ



あ

朝早く

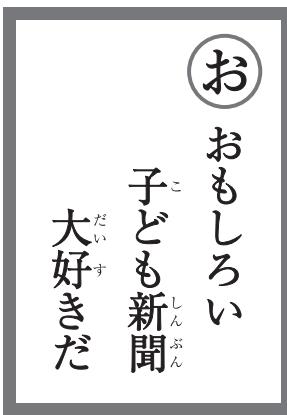
あさはや

新聞読んだら

あさ
あさ
朝ごはん



お



お

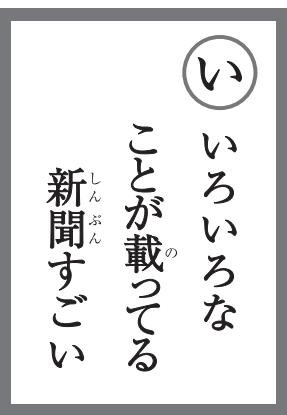
おもしろい

子ども新聞

だいす
大好きだ



い



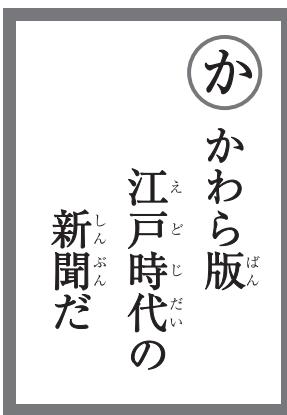
い

いろいろな
ことが載つて
る

しん
ぶん
新聞
すごい



か

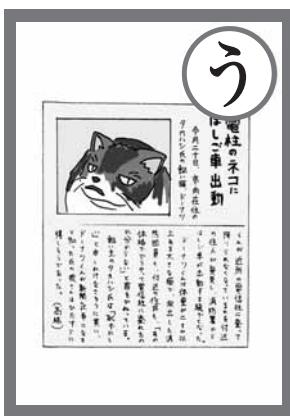


か

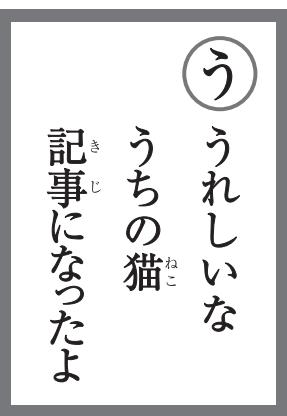
かわら版

しん
ぶん
新聞
だ

えどじ代の
江戸時代の



う



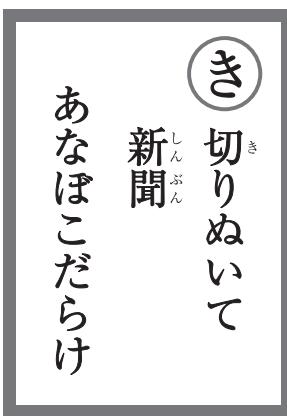
う

うれしいな
うちの猫

き
じ
記事
になつたよ



き



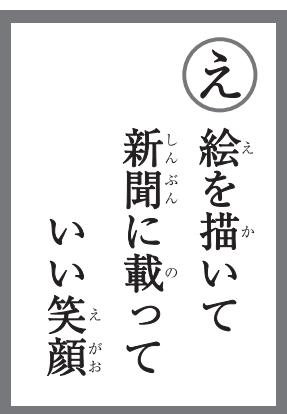
き

しん
ぶん
新聞

あなばこだらけ



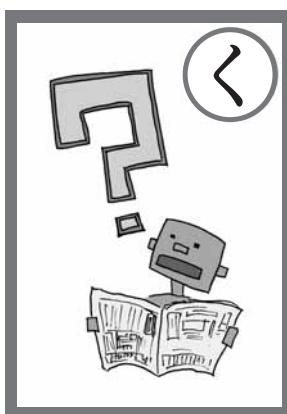
え



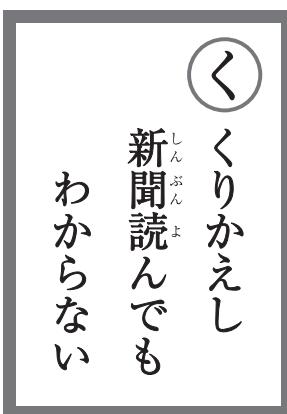
え

絵を描いて
新聞に載つて

え
がお
いい笑顔



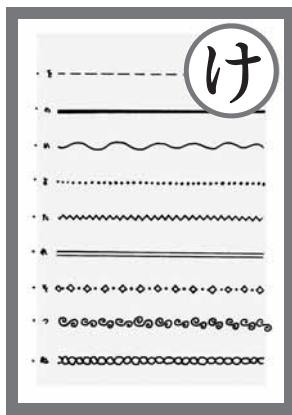
く



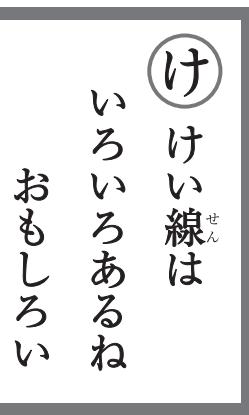
く

しん
ぶん
新聞
読んでも

わからぬ



け



け

けい線は

いろいろあるね
おもしろい



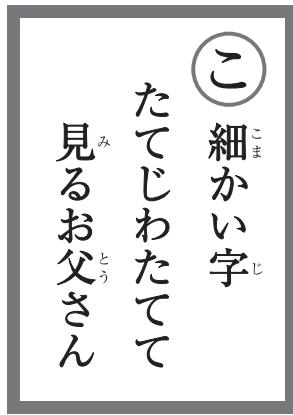
し

新聞は

心のはたけに
種をまく



こ



こ

細かい字

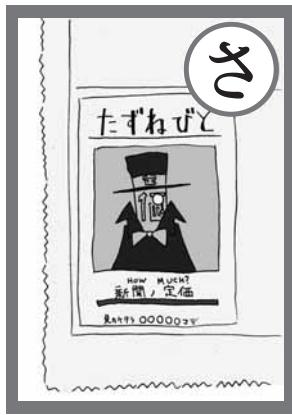
たてじわたてて
見るお父さん



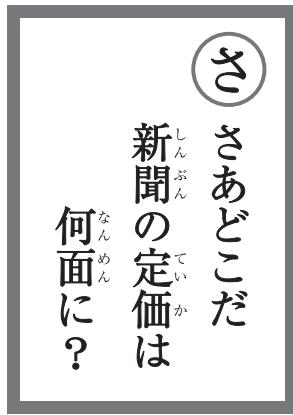
す

スクープだ

大変だ



さ



さ

あどこだ

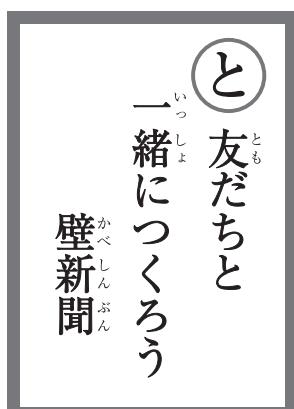
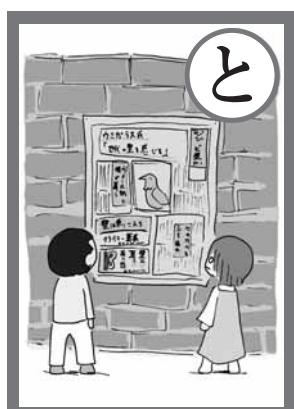
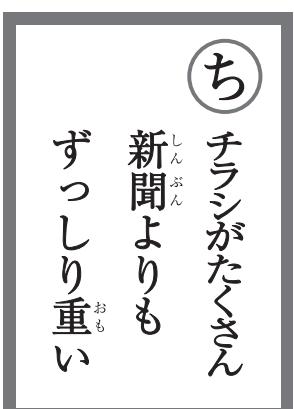
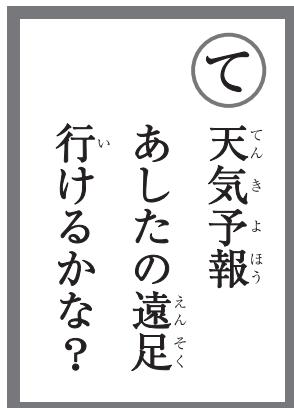
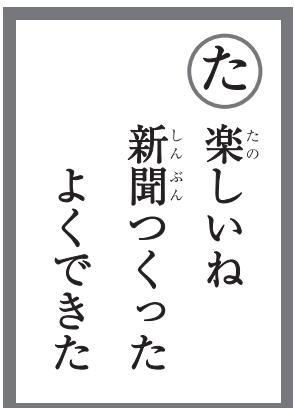
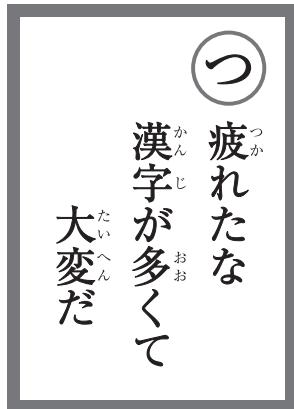
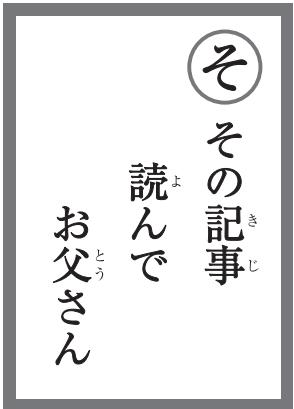
新聞の定価は
何面に?

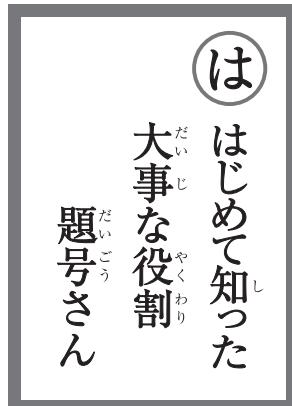
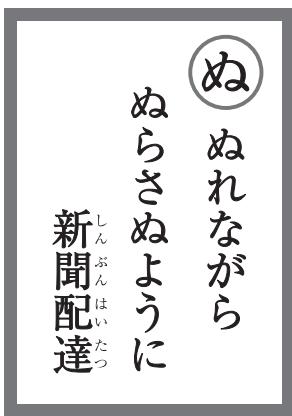
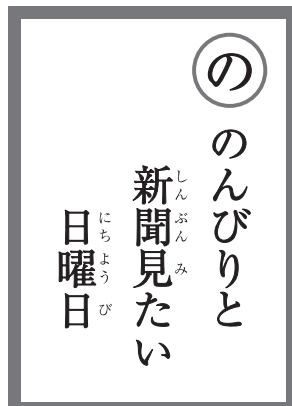
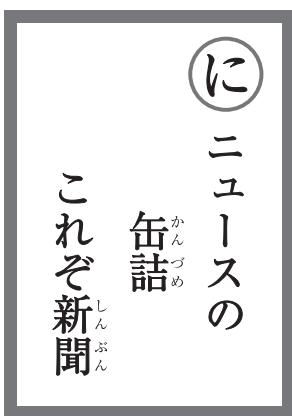
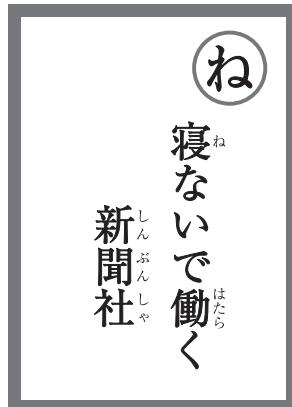
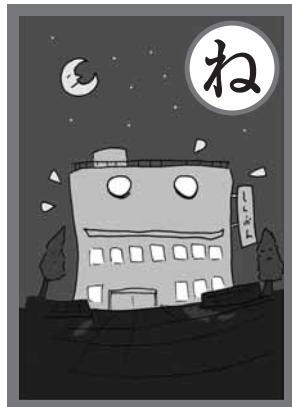
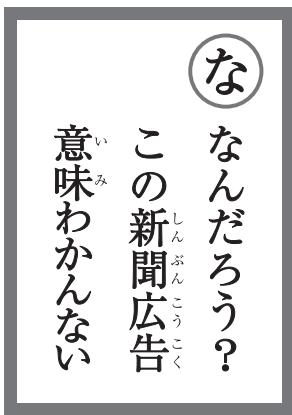


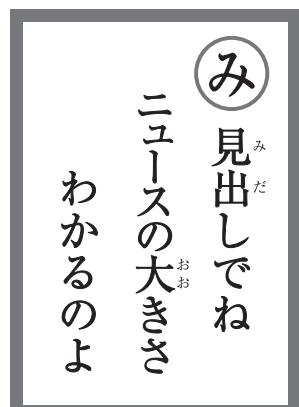
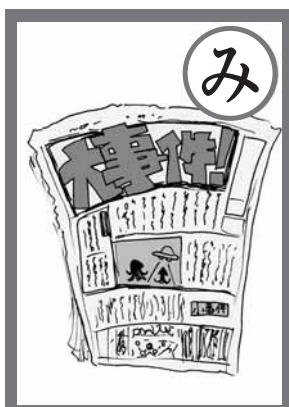
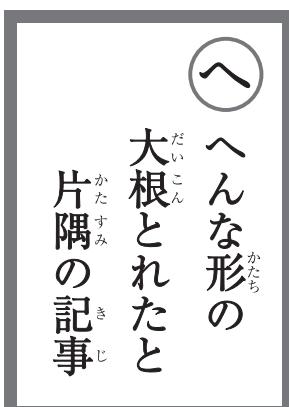
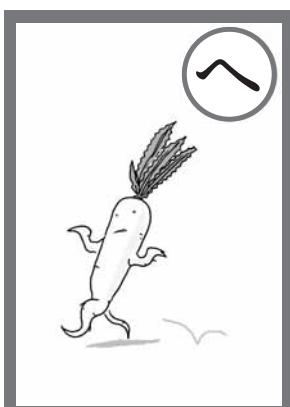
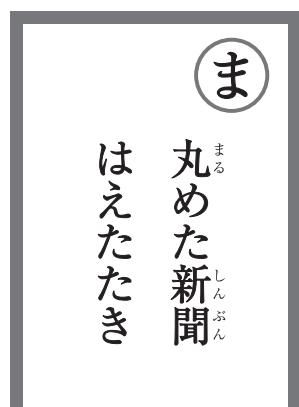
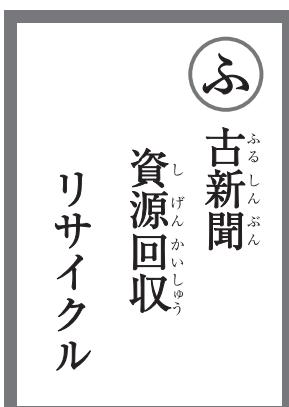
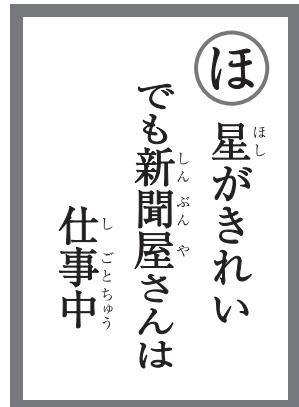
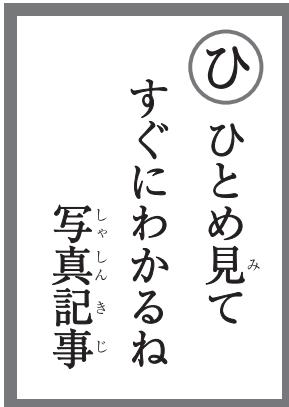
せ

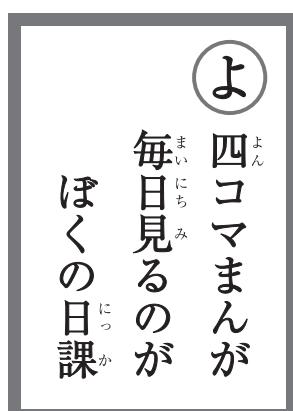
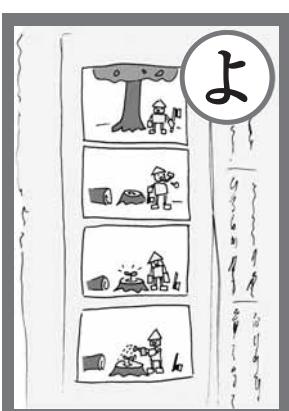
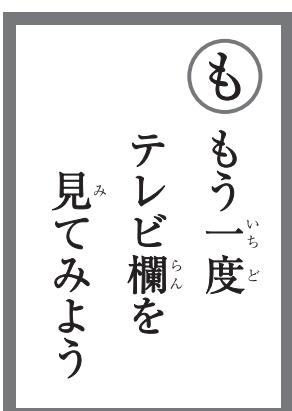
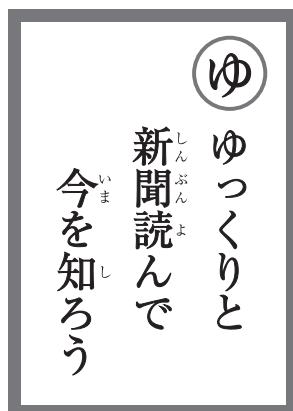
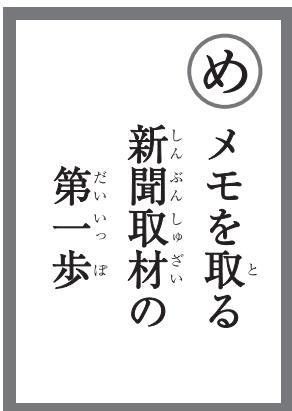
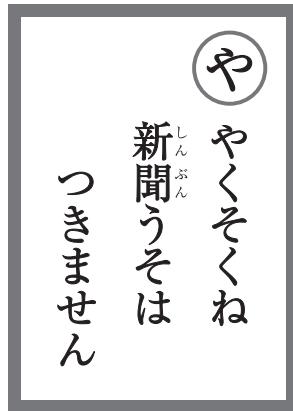
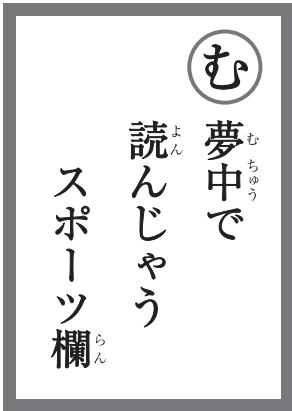
世界には
どんな新聞

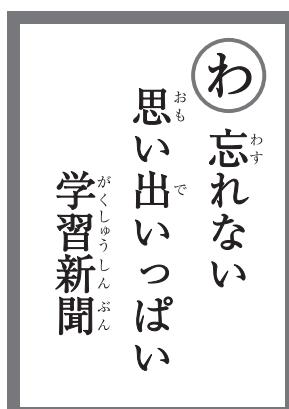
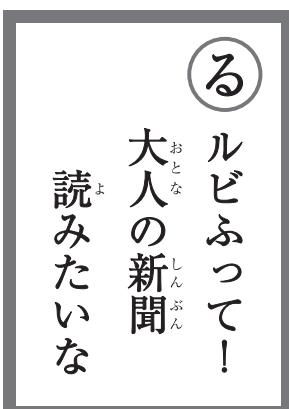
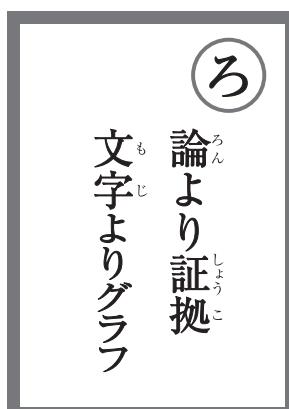
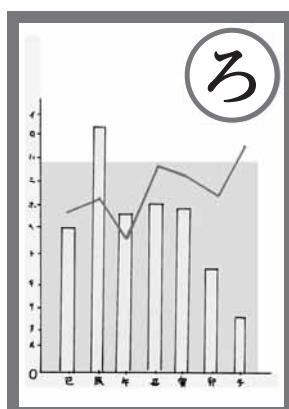
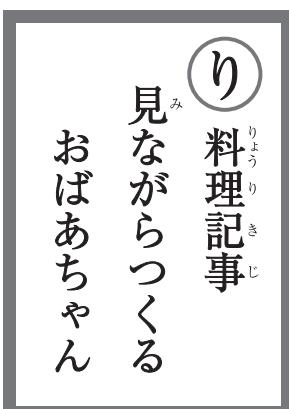
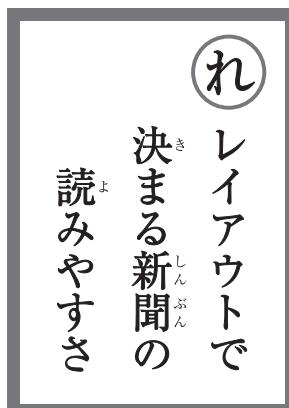
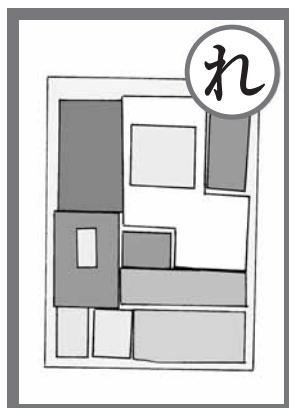
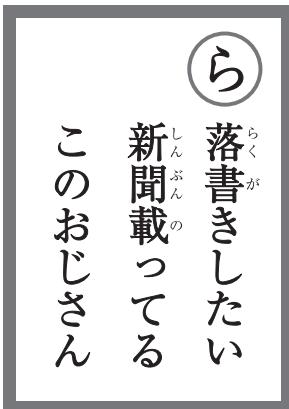
あるのかな

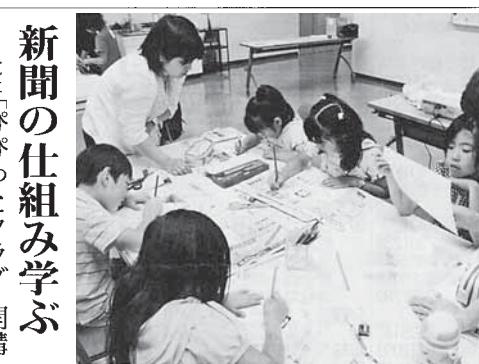












平成21年(2009)6月18日(木曜日)

新聞の仕組み学ぶ 北上「ぴぴっとクラブ」開講

北上市の「ぴぴっと研」による2009年度
研究会(小笠原味佐枝会)「子どもぴぴっとクラ

ブ」が、同市大通りの市
生涯学習センターで開講
した。小学生24人が集ま
り、新聞を構成する要素
などについて学んだ。

岩手日日新聞に掲載さ
れていた「子どもぴぴっと
クラブ」の記事を通じて、
「いつ」「どう」「誰」が「何をした」について
確認し、紙面を構成する
題字、見出し、写真・イラスト、けい線などにつ
いて学び、児童は色鉛筆
で免分けするなどして新聞
を読み取る組みおくり、02年度から「子ども
ぴぴっとクラブ」を開設。
今年度が4回目となる
活動を行な予定で、夏休
み前の7月にはスクラップ
作り、12月には新聞作り
を計画している。

色分けしながら新聞の要
素について学ぶ児童
「ぴぴっとクラブ」が、同市大通りの市
生涯学習センターで開講
した。小学生24人が集ま
り、新聞を構成する要素
などについて学んだ。

岩手日日新聞に掲載さ
れていた「子どもぴぴっと
クラブ」の記事を通じて、
「いつ」「どう」「誰」が「何をした」について
確認し、紙面を構成する
題字、見出し、写真・イラ
スト、けい線などにつ
いて学び、児童は色鉛筆
で免分けするなどして新聞
を読み取る組みおくり、02
年度から「子どもぴ
ぴっとクラブ」を開設。
今年度が4回目となる
活動を行な予定で、夏休
み前の7月にはスクラップ
作り、12月には新聞作り
を計画している。

新聞に親しむ 北上・子どもぴぴっとクラブ スクラップ作りに挑戦

北上市の「ぴぴっと
(PPT)研究会(小笠
原味佐枝会)の200
9年度「子どもぴぴと
クラブ」が1日、同市大

通りの市生涯学習センタ
ーで開かれた。小学生10
人が題字や4こま漫画を
切り張りするスクラップ
ノート作りに挑戦し、遊
字、一番小さな文字、4



新聞紙の4こま漫画を張ってスクラップノートを作成する児童

この手邊に写真を探し出
しては手持ち切って一
度に張りだ。特に今まで
漫遊にばらばらの漫画
があるときも見つけた子供
たちが「うれしかった」
など喜劇的な表情で作業
に取り組んでいた。

黒沢虎東小年の高橋

美書さんによると、新聞紙名と
ノートと、新聞紙名と
日付を色鉛筆でそれぞれに
記入。「新聞を読んだり、
切ったり、文章を書いたり
するのが楽しい」とい
う児童がいた。

子どもぴぴっとクラブ

は、研究会がNIE(教
育と新聞を活動の一環
として、02年度から開
く。今年度は7回の活動
を予定。小学生との保護者

記事の5W1Hって?

北上・ぴぴっとクラブ 子供が学習



5W1Hの文章を考える子供たち

北上市大通りの市生涯
学習センターで12日、「
子どもぴぴっとクラブ」
はゲームを楽しみながら
新聞記事について学ん

平成21年(2009)9月13日(日曜日)

音 手 曜 日

だ。
新聞記事を構成する
「5W1H」がテーマ。
盛岡市で最高気温を記録
したりとを伝える記事を
素材として、子供たちが「い
つ」「どこで」「だれが」
「なぜ」「どうした」を書き出す
文章の中から

「どうして」を探した。
ゲームでは、全員で
「いつ」「どこで」「だれ
が」「だれと」「なぜをし
た」「どうなった」を短冊
に書き、それぞれを選ん
で新しく文章を作った。
「9月26日に友だちの家
でドラえもんといつこが
けんかしよ。おいしかっ
たなどの文章ができ
美いを誇っていた。

「ぴぴっと研究会(小
笠原味佐枝会)は、教
育に新聞を取り入れる
「NIE」活動に取り組
んでおり、2002年度
から同クラブを開設。今
年度も7回の活動計画
で、今回が3回目。

平成21年(2009)7月12日(日曜日)

音 手 曜 日

は、研究会がNIE(教
育と新聞を活動の一環
として、02年度から開
く。今年度は7回の活動
を予定。小学生との保護者

平成21年(2009)11月15日(日曜日)

北上市大通りの市生涯学習センターで14日、子どもびびっとクラブ「新聞の構成学ぶ」が開かれた。子供たちは新聞記事の読み聞かせで新聞を構成する要素について学んだ。

身近な話題から新聞の構成学ぶ

子どもびびっとクラブ



読み聞かせで新聞を構成する要素について学ぶ子供たち

2009年度4回目で10人余りが参加。読ネーション点灯の記事を紹介。見出しや写真、説明文をめぐらして、「5W1H」について学んだ。

この後、「子ども新聞の世界一美しいネコ!」や「きよだせんぐ」の記事を読み、「5W1H」を確認しながら感想文をまとめた。

「びびっと研究会」(小笠原味佐枝会)は教育に新聞を取り入れる「NIE」活動に取り組んでおり、02年度からのクラブを開設。今年度は7回の活動を計画し、次回も「新聞製作体験(12月19日)」は新聞製作を行ふ。



「子どもびびっとクラブ」で新聞製作に臨む児童たち

体験、印象率直に

北上・子どもびびっとクラブ 児童が個人新聞作り体験

「ビビット」が2回目。同市大通りの市生涯学習センターで開かれた同監修者による「新聞製作体験」で、児童16人が各自が新聞を作成して、ロンドンみたいに走らせていた。次回は1年・月の日本新聞を取り入れる「NIE」活動取り組み回数が2009年全回計画実施してある事業。5回目の同日は、「楽しく個人新聞作り」がテーマ。題字や見出しをはじめ、記事を分かれやすく正確に書くなどの「5W1H」などを学んだ後、各組の割合は用紙を使つて新聞作りを行った。

開かれる。

平成21年(2009)12月13日(日曜日)



新聞の中から子どもの声を探す児童

目凝らし、寅探し

北上・びびっとクラブ 新聞2紙をチエック

北市の「びびっと研究会」(小笠原味佐枝会)による「子どもびびとクラブ」が、同市大通りの市生涯学習センターで開かれた。児童が新聞で読み聞かせで読んだことや、見出しや写真などを思い思いの記事を紙面に書いた。

北上市の「びびと研究会」(小笠原味佐枝会)によると、児童が新聞を読み聞かせで読み聞かせたところ、児童が新聞に親しみを感じた。高田恭さん(こまき研究会)は、「新聞は、読むことで訪れた市内の手

慣けにつながるのが狙いだ」と述べた。新聞記事の読み聞かせで児童は、関係する記事をはじめ、トランプやイラスト、文字、絵を書きこむ。児童は、今年のえどを探した。新聞を隅々まで見る習慣付けられたのが狙いだ。

新聞を隅々まで見る習慣付けられたのが狙いだ。新聞記事の読み聞かせで児童は、関係する記事をはじめ、トランプやイラスト、文字、絵を書きこむ。児童は、今年のえどを探した。新聞を隅々まで見る習慣付けられたのが狙いだ。

平成22年(2010)1月13日(水曜日)

音手日

平成22年(2010)2月12日(金曜日)

茶道体験で
締めくくり
北上・子ども
ぴぴっとクラブ

北市の「ぴぴっと研究会」(小笠原味佐枝会長)による「子どもびびっとクラブ」が、同市大通りの市生涯学習センターで開かれた。2009年度最終の活動で、児童は文字と同じ日本古来の伝統文化である茶道に親しつんだ。

同研究会では、文字や活字は日本古来の伝統文化との観察から、活動に

「茶道では道具をきれいにすることで、自分の心を清め、落ち着かせる」など話しながら作法や道具について説明。児童15人と父母は、茶道の精神に触しながら抹茶と和菓子を味わった。

講師の裏千家大島社中の大島禮子さん(79)は

百人一首を取り入れてお

いる。最終活動では毎年茶道体験を基に記事をまとめている。

講師の裏千家大島社中

E

と笑顔を見せていた。

同研究会は、教育に新

びびっとクラブ

を開設

して

いる。

度も7回の活動

を実施した。10

年

度も7回の活動

を実施した。

新聞を活用した学習活動を展開している北上市の子どもびびっとクラブ（小笠原味佐枝会長）の2010年度第3回学習会は11日、同市大通通りの生涯学習センターで開かれた。25人の児童が参加して新聞広告についてのテーマは新聞広告。参加した児童は最初に、新聞から「一般広告」と政府広報を切り抜き、この日のテーマは新聞と張り付ける作業に取り組んだ。この作業を通して内容やデザイン

新規を用いた学習活動を展開している北上市の子どもびびっとクラブ（小笠原味佐枝会長）の2010年度第3回学習会は11日、同市大通通りの生涯学習センターで開かれた。25人の児童が参加して新聞広告についてのテーマは新聞

なびとクラブがあらわす「広告がある」と理解した。この後、約7ヶ四方のスペースを使ってオリジナルの制作に挑戦。講師を務めた小笠原会長から「将来、自分がなりたい職業や自分の夢、学

校のことを広告にしてみ

にください」と促された

児童は、一様に紙に書き

られた小さなスペースをじ

つと見結めて思索頗。

それでも、首をひねりながら徐々にペンを走ら

せ、将来の夢としている

この日のテーマは新聞

広告。参加した児童は最初に、新聞から「一般広告」と政府広報を切り抜き、この日のテーマは新聞

デザイン膨らむ

北上・びびっとクラブ

将来の夢 広告に描く



新聞広告を切り抜いたり、広告デザインを考える児童

パーティシエやすし屋へ
ソトショップなどの広告
を書き上げていた。中に
は50周年を迎えた母校の
PR広告を書いた児童も
いた。

平成22年(2010)9月12日(日曜日)

2002年度からNPO法人E(教育新聞)活動に取り組んでいる北上市のびびっと研究会(小笠原味佐枝会長)が主催する「子どもびびっとクラブ」に残った学習遊びなどをテーマに各自が「感想新聞」を作成。児童は「自然やスポーツ」に関する記事のスクラップ作り

マイ新聞に思い出凝縮 北上

びびっとクラブで製作



1年間の活動を振り返る「感想新聞」の製作に励む児童

2002年度からNPO法人E(教育新聞)活動に取り組んでいる北上市のびびっと研究会(小笠原味佐枝会長)が主催する「子どもびびっとクラブ」に残った学習遊びなどをテーマに各自が「感想新聞」を作成。児童は「自然やスポーツ」に関する記事のスクラップ作り

感想新聞は児童が1年間びびっとクラブで取り組んできた内容を表現する大切な作業。A君が参加して同市大通りの生涯学習センターで開かれた。1年間の活動振り返って最も印象

2002年度からNPO法人E(教育新聞)活動に取り組んでいる北上市のびびっと研究会(小笠原味佐枝会長)が主催する「子どもびびっとクラブ」に残った学習遊びなどをテーマに各自が「感想新聞」を作成。児童は「自然やスポーツ」に関する記事のスクラップ作り

平成23年(2011)2月8日(火曜日)

マナビィサークルレポート

生涯学習センターで活動している団体を紹介するコーナーです!



Q. 発足はいつですか?活動内容は?

A. 平成12年4月、新聞を読んだりつくづたり

することが好きな仲間が集まり発足。保育園で

の新聞の読み聞かせや新聞づくり講習会など

の活動を展開してきました。生涯学習センター

では年に7回(すべて上曜日)子どもびびと

クラブを開催しています。小学生を対象に遊

びを通して新聞に親しみ表現力や国語力を身

に付けてもらうことが目的です。

Q. 子どもびびっとクラブについて教えてください。

A. 14年4月に開設しました。新聞を使ったさ

まざまな活動を通して、児童も子どもたちと

一緒に楽しい時間を過ごしています。



生涯学習センター休館日

●定期休館日 12月15日(水) 每月第3水曜日
●年末年始の休館日 12月28日(火)~23年1月4日(火)

Q. 発足はいつですか?活動内容は?

A. 平成12年4月、新聞を読んだりつくづたり

することが好きな仲間が集まり発足。保育園で

の新聞の読み聞かせや新聞づくり講習会など

の活動を展開してきました。生涯学習センター

では年に7回(すべて上曜日)子どもびびと

クラブを開催しています。小学生を対象に遊

びを通して新聞に親しみ表現力や国語力を身

に付けてもらうことが目的です。

Q. 子どもびびっとクラブについて教えてください。

A. 14年4月に開設しました。新聞を使ったさ

まざまな活動を通して、児童も子どもたちと

一緒に楽しい時間を過ごしています。

広報きたかみ No.474 2010(平成22)年11月26日

新聞をより身近に!
ピピッと(PPT)研究会
～新聞は学びの宝庫～

新聞をより身近に!

ぴぴっと (PPT) とは …

Paper (新聞)
Practice (実践)
Theory (理論)
Philanthropy (社会貢献)

ぴぴっと (PPT) 研究会 の主な活動

- ① 子どもぴぴっとクラブ
- ② 新聞を読んで今を語る会（通称：まうすりい）
- ③ 新聞関係各種講習会
- ④ ぴぴっと相談室（子育て・新聞作り企画アドバイス）
- ⑤ 広報活動（会報・ホームページ等々）

《紹介》

新聞を読んで今を語る会（通称：まうすりい）

まうすりい とは …

Mouth (口 … 話し合う)
Month (月 … 毎月開催する)
Mouse (パソコンのマウス … 情報をやりとりする)

} M が three (M が 3 つ)

発足：平成13年4月（平成23年3月で120回目 感動!!）

目的：いろいろな新聞を読んで、自分の感じたことや気づいたことを自由に話し合い語り合いながら、社会の現実を見る目を養う。

活動：毎月第2水曜日 10時～12時（原則として）

方法：各自が一ヶ月間で読んだ新聞記事をもとに、気づいたことや考えさせられたこと・感動したこと等について出し合い、参加者で自由に話し合う。

発足から約10年になりますが、社説・ほっと記事・スポーツ記事・教育記事等々、自然に各自得意分野を持つようになりました。

新聞の読み方も、仲間の読み方から学んだり、自分なりに工夫したりするようになりました。いろいろな新聞記事や記事の読み方の深さに感動しながら新聞を楽しく読み合い語りあっています。

時には、季節を感じ、気分をフレッシュしたいと屋外で話し合ったり、車で遠出をしたりの変化もあります。楽しみながら、継続する事をモットーとして、これからも現代的な新聞井戸端会議「まうすりい」でありたいと思っています。

子どもぴっぷとクラブマニュアルⅠ

新聞にさわろう あそぼう たのしもう

★ちいさなNIE実践記録集Ⅰ★

さあやってみよう…実践ぴっぷと

- 1 これはどこだ
- 2 写真とおはなし
- 3 見出しへなあに
- 4 切ってみよう・貼ってみよう
- 5 カタカナをさがそう
- 6 日本探検
- 7 ぴっぷとbingo
- 8 ぴっぷとパズル
- 9 作文ゲーム
- 10 新聞を読もう
 - 新聞を開いてみよう
 - マンガ家に挑戦
 - 気象予報士になってみよう
- 11 新聞であそぼう
 - かぶとと剣
 - 新聞渡りゲーム
 - 新聞ファッショショーンショー
 - 新聞ビリビリ

(平成16年3月31日発行)

おわりに

子どもびびっとクラブには、毎年春になると、市内の小学校からいろいろな子どもたちがやって来ます。1年生から6年生まで、なんと最近ではお兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に、幼稚園の年長さんも参加してくれるようになりました。その顔ぶれは様々です。何年も来てくれている子は元気な中にも落ち着きと余裕が見え、初めて参加する子には少しへにかんだ顔に期待感が現れているように感じます。そんな子どもたちとの活動は、やはり刺激的で感動的です。毎回熱心に取り組んでくれる子どもたちと接して、うまく伝えられなかったり戸惑うこともありますが、大抵は子どもたちの素直な感性に救われています。

日頃新聞をじっくり手に取ることの少ない子どもたちですが、回を重ねる毎に大きな新聞紙の扱いにも慣れていきます。見出しや写真を眺めたり、記事文を苦労しながら読んだり、スクラップ・楽しいイラストを入れた個人新聞づくり等々、いろいろな発見に毎回目を輝かせる子どもたち。

「新聞っておもしろいよね。スポーツの楽しい写真を集めたよ。」

「冬休みの楽しかったことを新聞にしたんだ。妹とつくった雪だるま描いたの。」

「スクラップもたのしいけど、新聞を使ったゲームもやりたい！」

自分のやりたいことを要望してくれる子のことばに、「あそび」の重要性をもう一度考えさせられ、1回の活動の中に一休み的なゲームや簡単にできる課題を入れる工夫をするようになりました。新しい試みにもいろいろチャレンジしてきました。ひとつの実践を変化させたり、発展させたり、あるいは複数の実践を組み合わせてみたりと、実際の活動内容を決めるのに苦労しましたが、とても楽しい時間もありました。

今回この「子どもびびっとクラブマニュアルⅡ」の発行にあたって、これまでの活動をいろいろと振り返りながら、かつて来てくれた子どもたちの作品を見たり、その時の情景を思い起こしたり、ひとつずつまとめ上げました。その作業の中で、子どもたちとのふれあいを楽しみながら続けてきた自分たちの活動に、小さな歩みと広がりを感じ取ることが出来ました。そしてそれは、これから私たちの活動にとって、ささやかな励みにもなっています。

このマニュアルを発刊するにあたり、ご多用の中玉稿を賜りました筑波大学教員免許状更新講習講師 鈴木伸男様、北上市立黒沢尻東小学校校長高橋きぬ代様、イラスト担当の高橋圭様をはじめ、多大なるご指導・ご協力を頂いたみなさま方に心よりお礼申し上げると共に、今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

びびっと（PPT）研究会一同

再版にあたって

「新聞と楽しくふれ合おう」をテーマに、北上の小学生と培ってきた小さなNIE活動も10年になりました。今年度、参加してくれる元気な子どもたちの顔を見ながら、このいきいきした子どもたちの輪を、東日本大震災に被災した沿岸部の子どもたちにも届けたいと強く願うようになりました。

今回、平成23年度独立行政法人福祉医療機構助成(福祉活動支援事業)を受け、これまでのNIE活動をまとめた「子どもぴぴっとクラブマニュアルⅠ・Ⅱ」を再版できることになりました。各方面のご支援・ご協力に感謝申し上げると共に、NIE活動を通して子どもたちの笑顔が広まっていくことを願っています。

新聞の力の大きさを信じて

「子どもぴっぷとクラブマニュアルⅡ」の校了が目前の、平成23年3月11日午後2時46分東北地方太平洋沖地震は発生した。北上市内も震度5強、停電、断水、翌日も翌々日も新聞は届かず、情報不足に困惑、あらためて新聞の果たす役割の大きさを知らされた。

用紙不足をはじめ印刷機械の故障などもあり、一時はどうなることかと心配したが、印刷所の皆さんのがんばり努力により、予定通りマニュアルは発行することができた。

東日本大震災の大きな余震（4月7日再び震度5強）がやや静まりかけた新学期早々「子どもぴっぷとクラブマニュアルⅡ」と「ぴっぷと新聞かるた」をセットで北上市内小学校（各学級1セット）へ配布することができた。セットを手にした方々は、マニュアルの内容がたいへん参考になる・かるたの絵が新鮮・読み札が子どもらしい表現で楽しい・中学校の支援学級にもほしいなど、今年度から導入される小学校学習指導要領に新聞活用が明記されたこと也有って現場では思いのほか好評であった。

ぴっぷと（PPT）研究会として、東日本大震災の支援活動に着手していた矢先、沿岸被災地を訪問する機会があった。このとき若干のセットを持参した。帰宅すると、もっとほしいなどの電話や手紙が届き、「マニュアル」や「かるた」での被災地支援活動への励みとなつた。

震災当初、被災者が最も求めていたのは身近の正確で詳細な情報だった。通信が途絶え輪転機も回せぬ中で、新聞発行を継続しようとする熱い使命感のもと、手書きの壁新聞を作り避難所に張り出した新聞社。道路が寸断されガソリンが枯渇するなか、輸送網を死守し、読者の元に新聞を届けようとする新聞販売店。避難所住民を元気にしたい、そのために自分たちが元気で明るくがんばりたい、新聞は常にオピニオンリーダーだからどんな困難があっても学校新聞を発行し、みんなを引っ張っていくこうとする児童の姿に胸を打たれた。新聞もその使命を果たすべく、あらゆる手だてを駆使して「新聞を必要としている読者のために」報道し続ける日々があった。

大震災から半年後の9月、地元紙岩手日報が「東日本大震災一連の報道」、写真企画「平成三陸大津波」で新聞協会賞をダブル受賞。当研究会としても支援活動への思いをさらに強くした。

今年は子どもぴっぷとクラブの活動を開始してから、10年目の節目の年である。新聞の無限の可能性を信じ、各種の新聞から学び、子どもの活動から元気・勇気・夢をもらい、微力ながら今日まで地域でNIE活動を継続することができた。

この節目の年に、平成23年度独立行政法人福祉医療機構助成（福祉活動支援事業）を受け、平成16年度作成の「子どもぴっぷとクラブマニュアルⅠ」、平成22年度作成の「子どもぴっぷとクラブマニュアルⅡ」と「ぴっぷと新聞かるた」を再版し、「大震災地域に於けるNIE活動支援事業」として活動できることは望外の喜びである。

この事業を実現するにあたり、指導助言および支援・協力を賜りました方々、そして、この「ちいさなNIE実践記録集——マニュアルⅠ・Ⅱ」と「かるた」を手にしていただいた皆さまに心からの敬意を表するとともに感謝申し上げる次第である。

平成23年10月31日

ぴっぷと（PPT）研究会一同

ぴぴっと (PPT) 研究会

子どもぴぴっとクラブマニュアルⅡ

新聞にさわろう あそぼう たのしもう

—— ちいさなNIE実践記録集Ⅱ

発行年月日 平成23年3月20日 初版
平成23年10月31日 再版

代 表 者 小笠原 味佐枝

所 在 地 024-0012 岩手県北上市常盤台一丁目14-12

TEL&FAX 0197-64-0758

E - m a i l agi@titan.ocn.ne.jp

ホームページ www.pipitto.net/index.html

印 刷 所 (有)北上プリント
024-0091 岩手県北上市大曲町2-13
TEL 0197-64-7082 FAX 0197-63-4543

平成22年度独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」助成事業
平成23年度独立行政法人福祉医療機構助成（福祉活動支援事業）